

2010

4

目次  
CONTENTS

- 2 平成22年度市長施政方針
- 6 平成22年度那珂市の予算
- 10 議会 第1回定例会
- 12 第2次那珂市行政改革大綱
- 13 那珂市協働のまちづくり指針  
(概要版)
- 17 上菅谷停車場線開通!
- 18 都市計画マスタープランが  
まとまりました
- 20 平成22年度 各種健康診査
- 22 那珂市消費生活センターです
- 24 まちの話題
- 26 Information
- 30 さわやかさん、表紙の裏側 ほか



さようなら私たちの幼稚園(戸多幼稚園・木崎幼稚園閉園式)

平成  
22年度

# 市長施政方針

平成22年度那珂市一般会計、特別会計、水道事業会計の当初予算及び各議案を提出するに当たり、市政運営の基本方針と主要な施策の概要を申し述べ、議員各位をはじめ市民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

今日の地方自治体を取り巻く環境は、少子高齢化の一層の進行、人口減少社会の到来、低炭素社会への対応、地方分権の進展など大きな変化に直面しております。一方、経済状況は、世界的な景気の低迷が続く中、円高やデフレ、株安などにより依然として厳しい状況にあり、景気回復のための経済対策と雇用の確保が緊急的な課題となっております。本市においては、このような社会情勢の中、計画的・具体的にまちづくりを進めていくため、「第1次那珂市総合計画」に基づき、「市民とともに創る協働のまちづくり」、「市民が安全で安心して暮らせる住みよいまちづくり」、「市民がいきいきと輝き、活力あふれるまちづくり」を推進しております。

本市の財政状況は、長引く景気の低迷による市税収入の減少などかつてないほど厳しい状況にあり、平成



施政方針を述べる小宅市長

21年3月に策定した財政健全化プランに基づき、抜本的な歳出削減と施策及び事業の見直しに積極的に取り組んできたところであります。

平成22年4月からは、柔軟で効率的・効果的な組織体制としてグループ制への移行を行い、市民サービスの一層の向上と将来を見据えた行政基盤の確立を図ってまいります。

さらには、市民との協働のまちづくりの推進、安らぎのある福祉のまちづくりや安全・安心な住みよいまちづくりの推進、産業の活性化、教育・文化環境の充実など、市民の皆様と手を携え、豊かな那珂市の未来を創るため、各種施策を一つ一つ着実に具現化し、市の将来像であります「人にやさしく文化の香り高いまちづくり」を目指して、全力を傾注してまいります。

平成22年第1回那珂市議会定例会が3月9日から開催されました。その冒頭で小宅市長が平成22年度の施政方針を表明しました。以下、施政方針の内容（予算の概要については別掲）についてお知らせします。

次に平成22年度当初予算について申し上げます。

平成22年度の当初予算につきましては、歳入では国の経済対策により地方交付税及び財源対策の地方債の増加が見込まれるものの、収入の根幹となる市税や各種交付金が減少し、歳出では扶助費や公債費が高水準で推移するなど、依然として厳しい財政状況が続いております。

このような状況の中、財政調整基金等からの繰り入れや市債の発行を必要最低限度に抑えるなど財政の健全化を一層進めるとともに、必要な公共サービスを維持するため、歳入に見合った歳出の原則に立ち、徹底した経費の節減と財源の重点的かつ効率的な配分による予算編成を行いました。その結果、一般会計につきましても、前年度比0.1パーセント増の167億9000万円を計上いたしました。

また、国民健康保険特別会計をはじめとする9の特別会計の総額は、前年度比1.8パーセント増の121億6575万円となりました。一般会計と特別会計の総額は、289億5575万円となり、前年度の当初予算対比では0.8パーセント、2億22

88万5千円の増額となりました。

さらに、水道事業会計につきましては、収益的収入が11億2707万円、収益的支出は11億810万円、資本的収入が5342万9千円、資本的支出は4億5190万7千円となる予算編成を行いました。

続きまして、重点的に取り組む主要施策の概要につきまして、第1次那珂市総合計画に掲げる施策体系に即して申し上げます。

## 1 市民との協働のまちづくり

広聴事業につきましては、市民相談室において市民からの意見聴取の機会の充実を図るとともに、引き続きパブリックコメントを実施してまいります。

広報事業につきましては、市の話題や情報をわかりやすく、より多くの市民に親しまれる広報紙づくりに努めてまいります。

協働のまちづくりの推進につきましては、昨年12月に制定いたしました「那珂市協働のまちづくり指針」について、市民の方々に理解していただけるよう、地域活動団体などと

連携して引き続き啓発に努めるとともに、具体化に向け取り組んでまいります。

男女共同参画推進事業につきましては、那珂市男女共同参画プランに基づき、共に参画できる社会の実現に向けた取組を推進してまいります。

## 2 安全で快適な住みよいまちづくり

消防行政につきましては、事業所等の防火査察の徹底や消防団、婦人防火クラブ等と連携した広報の普及・啓発活動により火災防止に努めてまいります。

救急業務につきましては、増大する救急需要に対応するため、救急救命士を養成するとともに、応急処置講習会等の普及促進により更なる救命率の向上に取り組んでまいります。

防災につきましては、自主防災組織の設立促進を図り、防災意識の高揚と災害時における市民の生命・財産の安全確保を図ってまいります。

原子力の安全対策につきましては、原子力安全協定に基づき各事業所への監視体制を継続するとともに、適宜立入調査等を実施して安全確保を図ってまいります。

市民の安全・安心対策につきましては、未設置地区への自主防犯組織の設立を促進してまいります。

消費生活行政につきましては、専門相談員を2人配置し、相談窓口の充実を図るとともに、悪質商法等の被害の未然防止のため、啓発活動に取り組んでまいります。

清水洞の上整備事業につきましては、豊かな自然環境が残された貴重な資源を保全するため、年次計画に沿って引き続き整備を図ってまいります。

環境行政につきましては、環境負荷の少ない持続的発展が可能な社会の実現と公共施設等から排出される温室効果ガスの削減に向けて、那珂市環境基本計画及び那珂市地球温暖化防止実行計画に基づき推進してまいります。また、昨年から市内の大手スーパーを中心にレジ袋が有料化されたことから、マイバッグの普及をさらに促進するとともに、ごみ分別の徹底により可燃ごみの減量と再資源化を推進し、循環型社会の形成を目指してまいります。

市道整備につきましては、生活道路としての利便性の向上と、安全な交通環境の確保を進めるため、緊急性と必要性を考慮しながら地域の要望を総合的に勘案し、道路の新設や改良、維持補修等を実施し、地域の交通環境の充実を図ってまいります。

公共交通の推進につきましては、市内の交通弱者の日常生活の移動手段を確保するため、福祉循環バスの運行を見直し、利便性の高い「ひま

わりバス」として有料のコミュニティバスを運行してまいります。また、民間の路線バスの運行維持、水郡線の利便性向上など公共交通の維持活性化と将来に向けた公共交通の在り方について、引き続き検討を行ってまいります。

排水路整備事業につきましては、両宮排水路の未整備区間である市街化区域内の上流部の函渠工事及び下流部の早戸川に合流する部分の用地取得に着手し、大雨等による冠水被害を防ぐため、早期完成を目指し推進してまいります。

地籍調査事業につきましては、大内（ ）地区及び門部（ ）地区の成果の閲覧と認証作業を行うとともに、下江戸（ ）地区0.95平方キロメートル及び門部（ ）地区1.13平方キロメートルの道水路・一筆地の調査を実施してまいります。

都市計画道路菅谷・市毛線（第3期 延長1300メートル）、上宿・大木内線（延長440メートル）、下菅谷地区まちづくり事業（区画道路延長1390メートル）及び上菅谷駅前地区土地区画整理事業につきましては、引き続き計画的な整備を進めてまいります。

杉原地区まちづくり事業（区画道路 延長990メートル）及び竹ノ内街区公園整備事業（06ヘクタール）につきましては、平成23年度完了に向け整備を進めてまいります。

上水道事業につきましては、安全かつ安定した給水の確保を図るため、既存施設の適正な維持管理に努めるとともに、木崎浄水場の改修に向け実施設計等を継続してまいります。また、幹線配水管の整備及び老朽管更新を引き続き実施してまいります。

公共下水道事業につきましては、横堀地区、向山地区、笠松地区及び下大賀地区の污水管布設工事を進めてまいります。また、杉原地区及び下菅谷地区につきましては、道路整備計画等との整合を図りながら污水管布設工事を実施してまいります。

公共下水道事業認可区域の拡大につきましては、市公共下水道事業審議会において慎重な審議を行い、認可区域の選定を行ってまいります。農業集落排水整備事業につきましては、鴻巣地区の供用開始に向け、処理場及び管路布設工事を進めてまいります。

合併処理浄化槽の設置につきましては、公共下水道及び農業集落排水整備事業の認可並びに採択区域以外の区域において、引き続き補助を行ってまいります。

## 3 健やかで生きがいをもって暮らせるまちづくり

地域福祉につきましては、那珂市地域福祉計画に基づき、市社会福祉

協議会や民生委員・児童委員との連携を強化し、互いに助け支え合う地域社会の構築を目指してまいります。

生活保護につきましては、引き続き適正な保護の実施や就労支援事業を推進し、保護受給者の自立支援に努めてまいります。

高齢者福祉につきましては、第5期那珂市高齢者福祉計画に基づき、地域包括支援センターや市社会福祉協議会と協力し、生涯を通じて元気に暮らせるよう、高齢者の社会参加や介護予防の推進、地域ケア体制の強化に努めてまいります。

介護保険につきましては、第4期那珂市介護保険事業計画に基づき、適正な介護認定に基づく介護サービスの提供に努めてまいります。

障害者福祉につきましては、那珂市障害者プランに基づき、引き続き障害福祉サービス等の確保、適正なサービスの提供に努めてまいります。

子育て支援につきましては、那珂市次世代育成支援対策行動計画に基づき、総合的な子育て支援策を実施してまいります。また、次代の社会を担う子どもを社会全体で応援する観点から、新たに子ども手当を支給してまいります。また、家庭相談員による養育相談や指導を行うとともに、母子自立支援員による相談業務の充実や関係機関と連携し自立に

向けた支援を行ってまいります。

子育て支援センターにつきましては、子育て不安の解消やポランティアサークルへの支援を引き続き行うとともに、子育て支援情報の提供の強化を図ってまいります。

保育園につきましては、民間保育園の定員を増やし、入所待ち児童の解消を図るとともに、公立保育所においては、保育二入の高休日保育の実施について検討してまいります。

成人保健につきましては、国保加入者を対象とした特定健診及び特定保健指導を重点に実施してまいります。

母子保健につきましては、新たに生後4か月までの乳児の家庭を全戸訪問するとともに、引き続き「健やか親子那珂21・第1次母子保健計画」に基づき、関連する事業と連携して実施してまいります。

予防接種事業につきましては、予防接種法に基づく定期接種の勧奨を行い、疾病のまん延防止に努めてまいります。

妊婦健診につきましては、健康な子どもを生むための支援体制の強化を図ってまいります。

食育につきましては、那珂市食育推進計画に基づき、健全な食生活や「食」を大切にすることを取り戻すことなどを推進してまいります。

#### 4 豊かな心と文化を育む教育のまちづくり

学校教育につきましては、個性と創造性を育む学校教育の充実を図ることを目標に、児童・生徒の「確かな学力」、「健康や体力」、「豊かな心」の育成を図ってまいります。そのため、引き続き小・中学校へTT（ティーム・ティーチング）非常勤講師や障害児学習指導員、ALT（英語指導助手）、学校図書館司書等の配置により指導体制の充実を図ってまいります。また、学校生活への

悩みを持つ児童・生徒や保護者への教育相談体制の充実を図るため、「心の教室相談員」や「スクールカウンセラー」の活用、教育支援センターにおける支援等を実施してまいります。さらに、小・中学校の適正規模や適正配置について検討を進め、教育環境の充実に向けてまいります。

学校施設の整備につきましては、額田小学校校舎、芳野小学校校舎及び第三中学校金工木工室の耐震補強工事並びに瓜連中学校金工木工室の改築工事を実施するとともに、教室用の扇風機を小学校全学年まで整備してまいります。

幼稚園教育につきましては、市立幼稚園を8園から6園に統合し、効率的な運営と特色ある幼稚園教育を進めるとともに、引き続き公立幼稚園再編の基本方針に基づく検討を進めてまいります。

青少年の健全育成につきましては、引き続き家庭・学校・地域社会が相互に連携を図りながら、子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進してまいります。また、地域ぐるみで子どもを育てる学校支援地域本部事業による学校支援の充実を図ってまいります。

歴史資産・伝統文化につきましては、歴史民俗資料館を拠点に季節展・企画展の開催及び文化財の調査や映像資料などを活用し、保存と継承に努めてまいります。

市立図書館につきましては、引き続き図書資料の充実を図るとともに、ポランティアによる読み聞かせやお話会などを開催し、読書活動を推進してまいります。

芸術・文化の振興につきましては、創造性豊かな地域づくりのため、小・中学生を対象にアーティストの公演や地域交流による音楽活性化事業を推進してまいります。

スポーツ振興につきましては、総合型地域スポーツクラブ、ひまわりスポーツクラブの運営を支援し、誰もが生きがいのもてる生涯スポーツの実現に向けて取り組んでまいります。

国際交流につきましては、国際交流協会と連携し、異なる文化や生活習慣を互いに理解しあえる交流活動

の推進や、国際親善姉妹都市であるアメリカ合衆国テネシー州オークリッジ市と中学生ホームステイ交換交流を実施してまいります。また、国際親善姉妹都市盟約締結20年を迎えるため、派遣団を結成し更なる相互親善を深めてまいります。

市民交流事業につきましては、友好都市秋田県横手市とさらに友好関係を深めるため、情報の提供と市民及び市民団体の交流活動を支援してまいります。

## 5 活力があり賑わいのあるまちづくり

農業農村整備事業につきましては、県営事業により土地改良基盤整備事業を有ヶ池地区、下坪地区、芳野地区、木崎地区、門部下河原地区及び南酒出地区を引き続き実施してまいります。

農業振興につきましては、定年退職者や帰農者などの新規就農者を対象とする技術実践講座を、引き続きJAひたちなかと連携して開催してまいります。また、営農指導員による基本的な農業の栽培管理や経営の指導・助言を行うとともに、土壌条件にあった作物の導入推進を図るため、新たな作物としてニンニクやさといも、食用カンショ、加工特産品としてのほしいも等の普及推進を

図つてまいります。さらに、認定農業者の育成・確保をはじめ、中核農家に対する支援を引き続き実施してまいります。また、農地法改正に伴い、農業経営基盤の強化促進に関する基本的な構想を見直すとともに、農業振興地域整備計画の見直しのため基礎調査を実施してまいります。

遊休農地の対策につきましては、昨年11月に作成した農作業受託者台帳及び農地流動化台帳を活用し、農業委員会等の関係機関と協力しながら耕作放棄地の解消を図るとともに、ヘアリーベッチの作付けの普及推進と冬場における土壌飛散防止対策として麦の種子の無料配布を引き続き行つてまいります。

水田対策事業につきましては、これまで取り組んできた政策が転換され、新たに食料自給率向上のための麦や大豆・米粉用米・飼料用米・加工用米などを主体に生産拡大を促す「水田利活用自給力向上事業」と水田農業の経営安定を図るため「米個別所得補償モデル事業」が導入されたことに伴い、生産者と関係機関が協力して推進してまいります。

商業振興につきましては、那珂市商業振興計画に基づき、引き続き地域商業者の活性化に向けた取組を支援してまいります。

観光振興につきましては、市の歴史や文化、自然、農業等の資源を活用した体験型観光などの基本方策を

検討するとともに、水戸市など周辺市町村と連携した誘客に取り組んでまいります。また、那珂市特産品の振興開発につきましても、商工会などの取組を支援するとともに、八重桜まつりやひまわりフェスティバル等の開催を通して、販売促進やPRを推進してまいります。

企業誘致につきましては、引き続き県や関係機関と協力し、工業団地への企業立地を促進していくとともに、固定資産税の優遇措置を行つてまいります。

農業・商業・観光など地域産業振興の拠点施設としての「道の駅」につきましても、瓜連支所付属庁舎を活用した整備について調査検討を実施してまいります。

## 6 行財政運営の効率化による自立したまちづくり

職員研修につきましては、職員の意識改革と資質の向上を図るため、計画的に実施してまいります。

人事評価制度につきましては、平成22年度から管理職を対象に試行を実施するとともに、一般職を対象とした研修を実施してまいります。

茨城県からの事務権限の移譲につきましても、地方分権の趣旨を踏まえ、新たに7法令39事務を受け入れ、主体的なまちづくりを推進してまい

ります。

組織機構につきましては、一層の市民サービスの向上という観点から課室の一部について見直しを図るとともに、平成22年4月から全庁的にグループ制を導入してまいります。

行財政改革につきましては、第2次行政改革大綱及び財政健全化プランに基づき引き続き計画的かつ積極的に取り組んでまいります。また、行政評価については、平成21年度より導入した外部評価を活用し事務事業の見直し等を行つてまいります。

以上、平成22年度の市政運営に当たつての基本的な考え方、主要施策の概要について申し上げますが、私は、市民と行政が共にまちづくりに取り組むことにより、魅力あるまちづくりが可能になると考えております。これまで以上に気を引き締め、市民の皆様との対話を大切に、常に市民の側に立つた行政運営を心がけ、元気で住みよい那珂市づくりを目指し、精魂を傾注してまいらる所存でありますので、皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ここに、議員各位をはじめ市民の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

平成22年3月9日

那珂市長 小宅 近 昭

# 那珂市の予算

表1 平成22年度会計別予算額

会計名	22年度 予算額(A)	21年度 予算額(B)	増減率 (A)/(B)
一般会計	16,790,000	16,780,000	0.1
特別会計	12,165,750	11,952,865	1.8
国民健康保険 (事業勘定)	5,262,000	5,089,000	3.4
老人保健	600	6,000	90.0
下水道事業	2,088,000	2,496,000	16.3
公園墓地事業	9,700	10,600	8.5
農業集落排水整備事業	971,000	682,000	42.4
介護保険 (保険事業勘定)	3,230,000	3,041,000	6.2
介護サービス事業	0	815	皆減
上菅谷駅前地区 土地区画整理事業	181,000	189,000	4.2
後期高齢者医療	423,000	438,000	3.4
那珂地方公平委員会	450	450	0.0
合計	28,955,750	28,732,865	0.8

(単位：千円、%)

平成22年度の那珂市予算は、歳入では国の経済対策の影響により地方交付税及び財源対策の地方債の増額が見込まれるものの、収入の根幹となる市税や各種交付金が減少し、歳出では高水準で推移する扶助費や公債費など依然として厳しい財政状況が続く中、歳入に見合った歳出の原則に立ち、徹底した経費の節減により重点的かつ効率的な予算編成を行いました。

その結果、一般会計については前年度に比べ0.1%増加し、167億9000万円となりました。

また、特別会計については、介護サービス事業特別会計は廃止に伴い皆減となりましたが、前年度同水準の121億6575万円となりました。【表1参照】

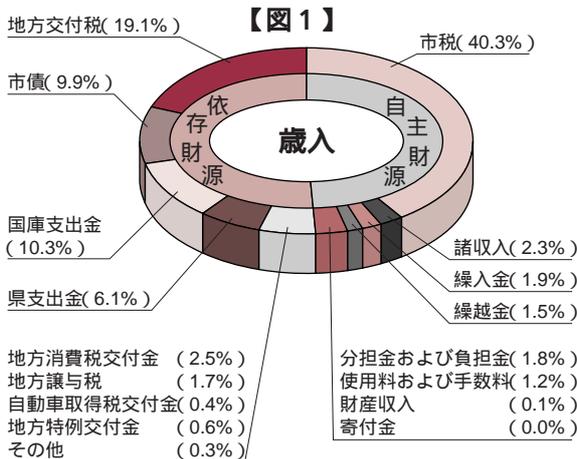
表2 平成22年度一般会計歳入予算

区分	22年度 予算額(A)	構成比	21年度 予算額(B)	増減率 (A)/(B)
自主財源	8,243,392	49.1	8,606,748	4.2
市税	6,770,987	40.3	6,957,449	2.7
分担金及び 負担金	300,219	1.8	292,699	2.6
使用料及び 手数料	202,100	1.2	197,882	2.1
財産収入	11,391	0.1	12,757	10.7
寄付金	2	0.0	2	0.0
繰入金	311,880	1.9	399,220	21.9
繰越金	250,000	1.5	300,000	16.7
諸収入	396,813	2.3	446,739	11.2
依存財源	8,546,608	50.9	8,173,252	4.6
地方譲与税	287,001	1.7	317,100	9.5
地方消費税 交付金	411,466	2.5	470,071	12.5
自動車取得税交付金	70,600	0.4	78,202	9.7
地方特例交付金	95,979	0.6	70,334	36.5
地方交付税	3,210,000	19.1	3,049,000	5.3
国庫支出金	1,732,324	10.3	1,274,556	35.9
県支出金	1,032,457	6.1	957,732	7.8
市債	1,656,960	9.9	1,901,153	12.8
その他	49,821	0.3	55,104	9.6
合計	16,790,000	100.0	16,780,000	0.1

(単位：千円、%)

利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、ゴルフ場利用税交付金、交通安全対策特別交付金

**歳入** 一般会計の歳入の主なものは、市税67億7098万7千円、地方交付税32億1000万円、市債16億5696万円、繰入金3億1188万円などです。このうち市の歳入の最も大きな割合を占める市税収入は、個人所得の減少や企業収益の悪化などにより減額が見込まれることから、前年度に比べ27%の減収を見込む一方、地方交付税については、地方財政計画の特別枠「地域活性化・雇用等臨時特例費」の創設などを考慮し、前年度に比べ5.3%の増額を見込んでいます。これらの結果、市が自らの手で確保できる自主財源は、82億4339万2千円で、前年度より4.2%減少し、歳入全体に占める割合は49.1%となりました。これに対し、国や県から決められた額を交付されたり、割り当てられたりする依存財源は、85億4660万8千円で、前年度に比べ4.6%増加し、歳入全体の50.9%となりました。【表2、図1参照】



一般会計

## 市債

大規模な事業を実施する際、その年度の収入だけでは財源を調達することが困難な場合、国や民間の金融機関から借り入れる資金のことで、市の借金にあたります。後年度の元利償還金の7割が普通交付税で措置される合併特例債を中心に、土地改良基盤整備事業に4,760万円、道路改良舗装事業に1億4,580万円、杉原地区や上菅谷駅前地区の道路や両宮排水路等を整備するまちづくり交付金事業に3億1,300万円、下菅谷地区まちづくり事業に3,510万円、菅谷市毛線街路整備事業に1,980万円、上宿大木内線街路整備事業に900万円、両宮排水路整備事業に3,300万円を借り入れる予定です。また、地方交付税の財源不足を補う臨時財政対策債(赤字地方債)は10億5,366万円を見込みました。

## 市税

市の歳入の根幹をなすもので、市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税などがあります。市民税については、雇用情勢の悪化による個人所得の減少や企業業績の不振による影響を受け減収が見込まれることから、前年度に比べ8.1%減少し27億3,830万9千円、固定資産税については、土地・家屋の増収が見込まれることから、前年度に比べ0.2%増加し32億2,956万3千円を見込みました。

## 繰入金

一般会計、特別会計及び基金の間で相互に資金運用をすることがあり、その資金を繰入金といいます。財源不足を補うため、財政調整基金から1億5,000万円、減債基金から1億5,000万円、市民活動基金から587万7千円、生涯学習基金から100万円を繰り入れました。また、他会計繰入金として、公園墓地事業特別会計から500万円を繰り入れました。

## 国庫支出金

国と地方公共団体の経費負担区分に基づき、国から地方公共団体に交付されるもので、負担金、委託金、特定の施設の奨励又は財政援助のための補助金などがあります。民生費国庫負担金では、自立支援サービス給付事業負担金に2億2,640万8千円、民間保育所児童運営費負担金に1億1,249万5千円、子ども手当関係負担金に6億8,503万2千円、生活保護費負担金に3億4,025万1千円、民生費国庫補助金では、地域生活支援事業補助金に2,145万9千円、衛生費国庫補助金では、合併処理浄化槽設置整備事業補助金に1,381万3千円、土木費国庫補助金では、狭あい道路整備等促進事業に1,740万円、まちづくり交付金に1億2,000万円、総務費委託金では、外国人登録事務委託金に56万3千円、民生費委託金では、基礎年金等事務委託金に1,029万9千円、子ども手当支給事務に517万2千円、土木費委託金では、樋管等操作委託金に107万4千円などを見込みました。

## 地方交付税

国税のうち所得税、法人税、酒税、消費税及びたばこ税のそれぞれ一定割合を財源とし、地方公共団体が等しくその行うべき事務を遂行することができるよう、一定の基準により国から地方公共団体に交付されるもので、普通交付税と特別交付税があります。普通交付税については、地方財政計画の増減率を踏まえ、「地域活性化・雇用等臨時特例費」の創設や臨時財政対策債発行可能額の増加による影響額等を考慮して前年度に比べ6.8%増加し30億1,000万円を見込みました。また、特別交付税については、過去の収入実績等を考慮し、前年度に比べ13.0%減少し2億円を見込みました。

民生費	高齢者や障害者の福祉、子育て支援、生活保護などに	88,566円
土木費	道路の整備、河川、公園および市営住宅の管理などに	44,240円
総務費	全般的な管理事務などに	39,391円
公債費	市債の返済に	35,482円
教育費	学校教育や生涯学習の充実、文化・スポーツの振興などに	32,827円
衛生費	病気予防や健康増進、火葬場斎場の運営、ごみ処理などに	22,220円
消防費	消防、救急活動、災害対策などに	15,588円
農林水産業費	農林業の振興、生産基盤の整備などに	13,935円
議会費	議会運営に	3,674円
商工費	商工業や観光の振興などに	3,022円
その他	予備費などに	267円
<b>合計</b>	<b>市民1人当たりの予算額</b>	<b>299,212円</b>

予算額を平成22年3月1日現在の人口56,114人で割って算出

市民  
1人当たりの  
予算額は?



# 歳出

一般会計の歳出の主なものは、人件費43億390万3千円、扶助費27億9318万円、物件費26億4597万8千円、公債費19億9104万3千円、普通建設事業費12億5158万9千円などです。このうち扶助費については、自立支援サービス給付費や新たに支給される子ども手当の増加などにより、前年度に比べ32・7%の増額となる一方、普通建設事業費については、道路改良舗装事業、両宮排水路整備事業、安心安全対策両宮排水路整備事業などが増加となる一方で、上菅谷停車場線街路整備事業、瓜連中学校の屋内運動場整備事業などが減少したことに加え、国の経済対策による前倒しで小中学校の耐震補強事業などを平成21年度に実施したことにより、前年度に比べ28・4%の減額となっています。これらの結果、法令などによりその支出が義務づけられている義務的経費は91億2328万6千円、前年度より52%増加し、歳出全体に占める割合は54・3%となりました。これに対し、道路や学校の建設など社会資本の整備に要する経費である投資的経費は12億5159万9千円、前年度より28・4%減少し、歳出全体の75%となりました。

【表3、図2参照】

表3 平成22年度一般会計歳出予算 性質別

区分	22年度 予算額(A)	構成比	21年度 予算額(B)	増減率 (A)(B)
義務的経費	9,123,286	54.3	8,674,164	5.2
人件費	4,339,063	25.8	4,279,939	1.4
扶助費	2,793,180	16.6	2,104,150	32.7
公債費	1,991,043	11.9	2,290,075	13.1
投資的経費	1,251,599	7.5	1,749,087	28.4
普通建設事業費	1,251,589	7.5	1,749,077	28.4
補助事業費	376,239	2.3	683,292	44.9
単独事業費	875,350	5.2	1,065,785	17.9
災害復旧事業費	10	0.0	10	0.0
その他の経費	6,415,115	38.2	6,356,749	0.9
物件費	2,645,978	15.8	2,608,544	1.4
維持補修費	215,377	1.3	227,827	5.5
補助費等	1,526,386	9.1	1,566,633	2.6
繰出金	1,989,383	11.8	1,910,833	4.1
その他	37,991	0.2	42,912	11.5
合計	16,790,000	100.0	16,780,000	0.1

(単位：千円、%)

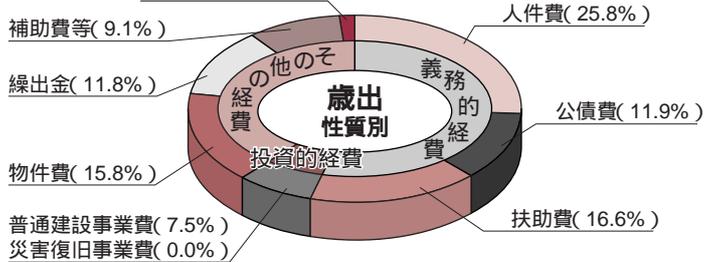
積立金、投資および出資金、貸付金、予備費

表4 平成22年度一般会計歳出予算 目的別

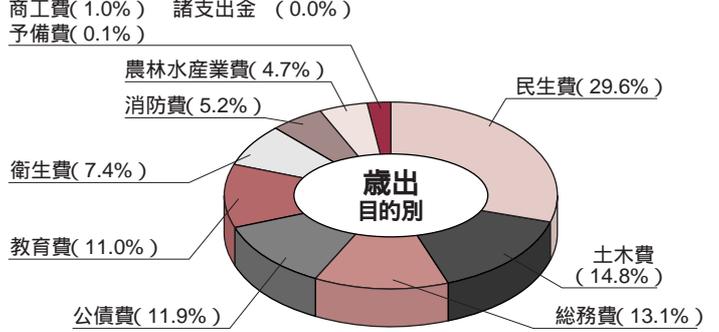
区分	22年度 予算額(A)	構成比	21年度 予算額(B)	増減率 (A)(B)
議会費	206,151	1.2	215,173	4.2
総務費	2,210,360	13.1	2,045,089	8.1
民生費	4,969,772	29.6	4,374,217	13.6
衛生費	1,246,859	7.4	1,254,369	0.6
農林水産業費	781,967	4.7	918,899	14.9
商工費	169,552	1.0	165,282	2.6
土木費	2,482,495	14.8	2,004,133	23.9
消防費	874,711	5.2	857,323	2.0
教育費	1,842,074	11.0	2,641,119	30.3
災害復旧費	10	0.0	10	0.0
公債費	1,991,044	11.9	2,290,110	13.1
諸支出費	5	0.0	5	0.0
予備費	15,000	0.1	14,271	5.1
合計	16,790,000	100.0	16,780,000	0.1

(単位：千円、%)

【図2】



【図3】



# 【特別会計】

特別会計は、特定の事業を行う場合、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般会計から分離して別に収支経理を行う会計です。主な会計としては、国民健康保険(事業勘定)特別会計が前年度に比べ34%の増加、介護保険(保険事業勘定)特別会計が前年度に比べ62%の増加及び下水道事業特別会計が前年度に比べ16・3%の減少となり特別会計全体としては前年度同水準となっております。

また、前年度と比べ増減率が大きな会計としては、農業集落排水整備事業特別会計が鴻巣地区の処理施設等の整備費増に伴い42・4%の増加、老人保健特別会計が後期高齢者医療制度への移行などにより90・0%の減少、平成21年度末で介護サービス事業特別会計が廃止されたことにより皆減となっております。

【表1参照】

# 【水道事業会計】

市の水道事業は、民間企業と同様に企業会計が導入されており、独立採算で運営しています。

本年度は、浄水施設の更新に向けた実施設計をはじめ、配水管布設、消火栓設置等を行うと共に、施設の維持管理を強化して安定給水に努めます。主な建設改良事業として、配水施設工事費2億924万円を予定しております。

【表5参照】

表5 平成22年度水道事業会計予算額

区分	22年度 予算額(A)	21年度 予算額(B)	増減率 (A)(B)	
収益的 収支	収入	1,127,075	1,131,753	0.4
	支出	1,108,100	1,081,898	2.4
資本的 収支	収入	53,429	68,991	22.6
	支出	451,907	484,060	6.6

(単位：千円、%)

### 教育費

学校教育、社会教育などの教育関係の経費で、幼稚園や小中学校などの教育振興、文化・スポーツの振興などに使われる費用です。額田小学校耐震補強事業に265万6千円、芳野小学校耐震補強事業に938万4千円、瓜連中学校整備事業に500万円、総合公園管理事業に1億4,165万9千円などを計上しました。

### 衛生費

市民が健康で衛生的な生活を送れるよう良好な環境を保持するための経費で、各種健診や予防接種、公害対策、ごみの収集処理などに使われる費用です。伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を防ぐ予防接種事業に7,425万円、がん検診や生活習慣病予防検診を行う各種検診事業に4,652万5千円、家庭用小型合併処理浄化槽の設置者及び単独浄化槽を撤去する者に補助を行う浄化槽設置補助事業に4,503万7千円、大宮地方環境整備組合負担金に5億3,949万3千円、家庭系可燃ごみ収集事業に9,465万6千円などを計上しました。

### 消防費

消防本部庁舎の維持管理、消防団の活動、消防施設の整備及び維持管理、防災対策などに使われる費用です。消防団設置事業に3,608万3千円、自主防災組織の結成に要する経費や資機材等の整備費を補助する自主防災組織育成事業に385万円などを計上したほか、新たに、消防本部庁舎改修事業に273万円を計上しました。

### 農林水産業費

農業、林業及び畜産の振興対策、生産基盤の整備、農道の維持管理、地籍調査、米の生産調整対策などに使われる費用です。認定農業者が経営改善に取り組むための支援を行う担い手育成支援事業に1,019万7千円、農道、排水路、溜池など農業用施設の整備を行う土地改良基盤整備事業に1億347万3千円、地籍の明確化を図る戸多地区地籍調査事業に2,806万2千円、木崎地区地籍調査事業に3,266万1千円、転作の実施に伴う農業経営の安定を図るため、その取組内容に応じて補助を行う水田農業構造改革対策奨励補助事業に8,326万4千円などを計上しました。

### 商工費

商工業の振興やイベント等の観光事業などに使われる費用です。市商工会に対して補助を行う商工会補助事業に1,300万円、なかひまわりフェスティバル事業に1,619万1千円、静峰ふるさと公園管理事業に1,377万7千円、八重桜まつり事業に814万3千円、消費者情報や知識の普及、専門相談員による消費者相談などを行う消費者行政推進事業に676万1千円、新たに地域ブランド商品の開発及び販路の開拓・拡大を図る特産品開発及び販路開拓支援事業に700万円、道の駅の整備が地域の商業・農業・観光の振興と地域の活性化に与える影響について調査する道の駅調査事業に265万5千円などを計上しました。

### 民生費

市民に一定水準の生活と安定した社会生活を保障するための経費で、高齢者や障害者、乳幼児のための福祉や生活保護などに使われる費用です。在宅において養護を受けることが困難な高齢者を養護老人ホームに入所措置する老人保護措置事業に7,359万4千円、身体障害者、知的障害者、精神障害者及び障害児が地域で生活できるよう給付を行う自立支援サービス給付事業に4億6,861万7千円、妊産婦、乳幼児、母子家庭の母子、父子家庭の父子及び重度心身障害者等の医療費の一部を助成する医療福祉扶助事業に2億4,076万円、昼間保護者のいない小学校低学年児童等の育成及び指導を行う学童保育事業に7,133万6千円、公設施設で入所しきれない要保育児童を民間施設に委託する民間保育所児童入所事業に4億1,119万9千円、生活に現に困窮している人に対し、生活扶助費、医療扶助費及び住宅扶助費等を支給する生活保護扶助費に4億5,466万8千円などを計上したほか、新たに、中学校修了前までの児童生徒を養育している保護者等に対し子ども手当を支給する子ども手当支給事業に8億7,490万円を計上しました。

### 土木費

道路の新設改良や維持補修、河川、公園及び市営住宅の維持管理、土地区画整理や市街地整備など、社会資本の整備に使われる費用です。道路維持補修事業に1億1,598万7千円、道路改良舗装事業に2億5,068万5千円、良好な市街地の形成及び整備を行う杉原地区まちづくり事業に1億3,435万9千円などを計上したほか、新たに市街地の冠水被害を防ぐために両宮排水路を改修する安心安全対策両宮排水路整備事業に4億2,890万円、安定した排水処理を行うために両宮排水路の下流部を改修する両宮排水路整備事業に4,358万円、上宿大木内線街路整備事業に2,900万円を計上しました。

### 総務費

市の全般的な管理事務などの経費で、市税の徴収や公有財産の維持管理、戸籍や住民基本台帳の管理、広報紙の発行、選挙、統計調査などに使われる費用です。広報なか及び広報なかおしらせ版の印刷製本費など広報事業に911万3千円、庁舎管理事業に5,819万8千円、協働のまちづくり推進事業に1,132万円などを計上したほか、新たにアメリカ合衆国テネシー州オークリッジ市との国際親善姉妹都市20周年記念事業に580万9千円を計上しました。

### 公債費

市債を返済するための費用です。起債償還元金に16億8,198万5千円、起債償還利子に3億805万8千円などを計上しました。

【表4、図3参照】

「那珂市の予算」に関する問い合わせ

財政課財政グループ ☎298 - 1111 (内線522)

平成22年第1回那珂市議会定例会  
3月9日から3月23日までの15日間の会期で開催



市長提出議案は、報告1件、条例の制定・一部改正14件、平成21年度補正予算9件、平成22年度予算11件、その他7件、合わせて42件です。審議の結果、全議案について原案のとおり可決されました。

## 行政概要報告

【行財政改革について】 行財政改革につきましても、厳しい財政状況の中引き続き改革を進めていくため、平成22年度から4年間の第2次那珂市行政改革大綱及び同実施計画を2月に策定しました。

また、行政評価につきましても、46の事務事業について外部評価を実施しました。

【友好都市提携及び市制施行5周年記念事業について】 1月16日に、

秋田県横手市との友好都市提携5周年及び那珂市市制施行5周年を記念して、式典やイベントを開催しました。式典には横手市の市長や市議会議長が出席し、より一層の交流促進を誓いました。また、一の関ため池親水公園では、横手市から贈られた「雪かまくら」を設置したり、「横手やきそば」の販売など多くの店が並び、1月16日と17日の2日間で1万2千人が訪れました。

【那珂ふるさと大使について】 新たに那珂ふるさと大使に1人を任命し、1月6日に、センチュリープラザNAGAOKAにおいて委嘱状交付式を行い、同会場で開催された那珂市新年賀詞交歓会において紹介しました。また、情報交換会ではこれまで活動してきた中で感じたこと等貴重な意見をいただきました。

【コミュニティバスについて】 本年4月より運行するコミュニティバスの愛称は、公募したところ40件の応募があり、那珂市地域公共交通検討委員会等で審査した結果、「ひまわりバス」と決定しました。

【広報活動について】 第55回茨城県市町村広報コンクールにおいて、「広報なか」平成21年11月号が「広報紙の部」で佳作に、「広報なか」平成21年5月号が「組み写真の部」で努力賞に入賞しました。今後とも市民の皆様にとって、読みやすく親しみのある広報紙の作成に努めてまいります。

【協働のまちづくりについて】 「那珂市協働のまちづくり指針」に基づく取り組みについて、2月23日から3月3日まで市内8地区で9回の説明会を行い、638人が参加しました。今後も、市民のかたがたに理解を深めていただくため、広報や出前講座等により啓発を行ってまいります。

【旅券事務について】 6月1日から開始した旅券事務につきましても、8か月が経過した2月末現在で、申請が1010件、交付が938件、紛失届が8件となっております。

【原子力総合防災訓練について】 12月21日と22日の2日間にかけて原子力総合防災訓練を実施しました。今回は、JCO事故から10年目という節目の年にあたるため、国や県との共催により、関係機関113機関、参加人数3千人の大規模な訓練となりました。

那珂市では、災害対策本部会議の設置運営訓練を実施するとともに、笠松運動公園で行った避難所設置運営訓練には女性消防団員を、救護所設置運営訓練には職員を派遣し、隣接の東海村やひたちなか市と連携して災害時の防災活動を実施しました。

【那珂市次世代育成支援対策行動計画（子育て応援プラン）の策定について】 平成17年3月に策定した那珂市次世代育成支援対策行動計画

（子育て応援プラン）の見直しを行い、平成22年度から5年間の「後期行動計画」を2月に策定しました。

【総合保健福祉センター管理事業について】 高齢者福祉センターの大広間の改修工事が完成し、2月1日から多目的室として供用開始しました。

【清水洞の上整備事業について】 本年度予定した用地買収を完了し、観察池整備工事と木道他周辺整備工事を1月に発注しました。

【両宮排水路整備について】 平成22年度の実施設計業務に向けて、排水路下流部の地質調査業務を1月に発注しました。

【地籍調査について】 大内（）地区及び門部（）地区の一筆地調査を終了し、確定測量を実施しております。

【那珂市都市計画マスタープランについて】 2月25日に那珂市都市計画審議会に諮り、「那珂市都市計画マスタープラン」を策定しました。

【水戸・勝田都市計画道路の変更について】 都市計画道路杉本・武具取線につきましても、昨年度の都市計画道路網再検討の成果を踏まえ、関係機関との協議も整い、年度内に変更します。

【市街地整備事業について】 杉原地区まちづくり事業につきましても、道路改良工事（167m）を1月に発注し年度内完成に向け施工中で

## 報告

専決処分<sup>1</sup>の報告について(損害賠償補償事故の賠償額の決定)

## 条例の制定・一部改正

那珂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例 / 那珂市環境審議会条例の一部を改正する条例 / 那珂市特別職の職員で非常勤のもの<sup>2</sup>の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 / 那珂市国民保護協議会条例の一部を改正する条例 / 那珂市公共施設の暴力団等排除に関する条例の一部を改正する条例 / 那珂市障害程度区分認定審査会の委員の定数を定める条例の一部を改正する条例 / 那珂市特別会計設置条例の一部を改正する条例 / 那珂市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例 / 那珂市保育の実施に関する条例の一部を改正する条例 / 那珂市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 / 那珂市コミュニティセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 / 瓜連地区公民館施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例 / 那珂市立学校体育施設使用料徴収条例を廃止する条例 / 那珂市協働のまちづくり推進基本条例

## 平成21年度補正予算

平成21年度那珂市一般会計補正予算(第7号) / 平成21年度那珂市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号) / 平成21年度那珂市下水道事業特別会計補正予算(第3号) / 平成21年度那珂市公園墓地事業特別会計補正予算(第2号) / 平成21年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計補正予算(第3号) / 平成21年度那珂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号) / 平成21年度那珂市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号) / 平成21年度那珂市上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号) / 平成21年度那珂市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

## 平成22年度予算

平成22年度那珂市一般会計予算 / 平成22年度那珂市国民健康保険特別会計(事業勘定)予算 / 平成22年度那珂市老人保健特別会計予算 / 平成22年度那珂市下水道事業特別会計予算 / 平成22年度那珂市公園墓地事業特別会計予算 / 平成22年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計予算 / 平成22年度那珂市介護保険特別会計(保険事業勘定)予算 / 平成22年度那珂市上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計予算 / 平成22年度那珂市後期高齢者医療特別会計予算 / 平成22年度那珂市地方公平委員会特別会計予算 / 平成22年度那珂市水道事業会計予算

## その他(同意を含む)

公の施設の広域利用に関する協議について / 字の区域の変更について / 市道路線の認定について / 市道路線の廃止について / 財産の無償譲渡について / 那珂市固定資産評価審査委員会委員の選任について / 那珂市監査委員の選任について

す。  
下菅谷地区まちづくり事業につきましては、道路改良工事(223m)を1月に発注し年度内完成に向け施工中です。  
上菅谷停車場線街路整備事業につきましては、区画線設置工事(167m)を1月に発注し、3月22日の供用開始に向け施工中です。  
上菅谷駅前土地区画整理事業につきましては、道路改良舗装工事(177m)を1月に発注し年度内完成に向け施工中です。

【公共下水道事業について】 横堀地区第4マンホールポンプ設置工事を12月に、横堀地区污水管布設(第4工区)工事を1月にそれぞれ発注しました。  
【上水道事業について】 簡易水道施設解体工事を1月に発注し、完了しました。  
【農業集落排水事業について】 鴻巣地区マンホールポンプ設置第1工区工事を12月に、鴻巣地区管路布設箇所舗装本復旧(第1工区)工事を1月にそれぞれ発注しました。  
【成人式について】 1月9日に成人式を開催し、大人の仲間入りをした新成人487人が参加、参加率は約83%でした。  
【夜間照明施設の撤去について】 第一・第二中学校の屋外運動場及び瓜連グラウンドの夜間照明施設につきましては、撤去が完了しました。  
【那珂市スポーツ振興基本計画について】 生涯スポーツの推進による市民の健康づくりを実現するため、スポーツ振興の方向性を示す「那珂

市スポーツ振興基本計画」を12月に策定しました。  
【総合型地域スポーツクラブについて】 地域における生涯スポーツ社会の実現に向けた総合型地域スポーツクラブとして「ひまわりスポーツクラブ」を2月に設立しました。  
【歴史民俗資料館収蔵庫の増築について】 増築工事を11月に発注し、年度内に完成予定です。  
【消防業務について】 12月1日から2月28日までの消防訓練指導につきましては、事業所や学校等を対象に20回行い、2242人が参加し、防火防災知識の修得と防火意識の向上を図りました。また、普通救命講習会を3回行い89人が修了し、応急手当の普及に努めました。  
火災出場件数につきましては、建

物が4件、車両が2件、合計6件、救急出場件数につきましては、急病が250件、交通事故が64件、その他が109件、合計423件となっております。  
1月10日に、消防出初式を那珂総合公園で開催しました。消防関係者584人が参加し、地域防災に向けて士気の高揚を図りました。  
また、1月29日(財)日本消防協会から防災活動車が交付され、消防団本部に配備しました。2月1日には、今後の救急需要を見据えて、消防署の旧救急車を、東消防署に救急予備車として配備しました。  
平成22年3月9日  
那珂市長 小宅 近昭

# 第2次那珂市行政改革大綱を 策定しました

市民の皆様とともに行政改革を進めます

本市は、合併後、行財政基盤の確立を目指すために、「生活基盤の充実や市民福祉の向上に努め、最少の経費で最大の効果をあげる」という地方自治の基本に立ち、平成17年11月に策定した行政改革大綱に基づき、行政サービスの充実に伴う行政運営の効率・迅速化などに取り組んできました。

しかしながら、先の見えない経済情勢により地方自治体を取り巻く環境は依然として大変厳しいものがあります。この大変厳しい財政状況に対応するために、第2次那珂市行政改革大綱および実施計画を策定し、引き続き行政改革を進め、限られた財源を有効に使い、第1次那珂市総合計画の着実な実施と簡素で効率的な行政システムを確立するとともに、一層の経費削減と市民サービスの向上に努めます。

前回の行政改革大綱で定めている基本方針や重点事項、推進項目については、原則継続しています。

なお、実施事項の見直しに当たっては、新たに取り組むべき実施事項の追加と既存実施事項の内容拡充を図りました。

## 推進期間

平成22年度～平成25年度

## 基本方針

市民とともに進める行政改革の推進

市民ニーズに対応した行政経営体制の確立

健全で効率的な行政経営の推進

**重点事項**  
行政の担うべき役割の明確化  
公正の確保と透明性の向上

経営体制の向上  
ICT（情報通信技術）の効果的な活用

行政評価システムの確立

定員管理及び給与の適正化  
自主性・自律性の高い財政運営の確保

第2次那珂市行政改革大綱および実施計画の全文を、  
那珂市ホームページに掲載しました。  
那珂市ホームページ  
<http://www.city.naka.lg.jp>  
問い合わせ/  
行財政改革推進室  
☎298-1111 内線572

**実施計画内容** 実施計画は、第2次那珂市行政改革大綱に基づき、実施すべき改革項目について具体的な改革の内容を定めています。

方針	重点事項	推進項目	実施項目
市民とともに進める行政改革の推進	行政の担うべき役割の明確化	民間委託等の推進	民間委託の推進 / 公立保育所の民営化
		指定管理者制度の活用	指定管理者制度の活用
市民とともに進める行政改革の推進	公正の確保と透明性の向上	市民参加・協働の推進	住民主体によるまちづくり活動支援制度の確立 / 審議会等委員の公募 / 審議会等へ女性委員の登用 / パブリック・コメントの推進 / 省エネルギー・省資源の推進
		説明責任の確保	ホームページの充実 / 行政評価結果の公表
市民ニーズに対応した行政経営体制の確立	経営体制の向上	組織等の再編の推進	組織機構の見直し、簡素化 / 幼稚園の統廃合 / 小中学校の再編 / 審議会等の見直し / 公共施設の有効活用 / 消防団の再編 / 浄水場の統廃合
		分権型社会の担い手育成の推進	職員研修の充実強化 / 派遣研修・人事交流の実施
	ICT（情報通信技術）の効果的な活用	人事評価の確立	人事評価制度の導入
		情報システムの効果的な活用	茨城県市町村共同システムの周知・活用
健全で効率的な行政経営の推進	行政評価システムの確立	情報セキュリティ対策の充実	セキュリティポリシーの遵守
		事務・事業の見直し	行政評価システムの向上 / 各種イベントの見直し / 幼稚園における3歳児保育の見直し
	定員管理及び給与の適正化	定員管理の適正化	適正な定員管理 / 嘱託・臨時職員の適正活用
	自主性・自律性の高い財政運営の確保	給与の適正化	職員給与等の公表
		自主財源の確保	市税・各種使用料等の徴収率の向上 / 学校体育施設の有料化 / 広告料の確保 / 幼稚園保育料の見直し
経費の節減合理化等財政の健全化		市債発行の抑制 / 公用車管理方法の見直し / 未利用財産の活用と処分 / 借地の見直し / 加入協議会の見直し / 施設管理経費等の見直し / 特別会計繰出金の抑制 / 施設使用料減免規定の見直し	
補助金等の整理合理化の推進	補助金の整理合理化 / 市単独事業補助金等の見直し / 外郭団体補助金の削減		
公共工事コストの縮減	工事成績表の有効な活用		

# 那珂市協働のまちづくり指針(概要版)

～ 那珂市にふさわしい協働のあり方～

今回策定した指針は、「協働」に関する一定のルールや考え方を示したものです。

今後は、この指針のもとで、市と市民がまちづくりの主役として輝き、ともに支えあっていく協働の精神・取り組みによって、活力とにぎわいのあるまちを目指し、「市民とともに創る協働のまちづくり」を進めていきます。

## 1 なぜ、今「協働」なの

### ■協働の背景

- (1) 地域コミュニティ力の低下  
組合加入率の低下、組合加入者の高齢化などにより地域コミュニティが衰退しています。
- (2) 社会構造の変化  
生産年齢人口(15歳～64歳)が減少、高齢者人口(65歳以上)が増加し、受益と負担のバランスが崩れ、従来の行政サービスの維持が困難になりつつあります。
- (3) 行政を取り巻く環境の変化  
住民ニーズの多様化、地方分権による事務権限の移譲などにより、公共サービスのすべてを行政中心で行うことが困難になりつつあります。
- (4) 市民意識の変化  
地域活動(自警団活動等)に市民の輪が広がってきています。

### ■協働の必要性

教育、子育て、福祉、環境問題など、多様化・高度化する地域課題に対して行政主導によるまちづくりには限りがあります。「住んで良かった」「これからも住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりを推進するためには、地域社会を構成する市民と行政がそれぞれの知恵や資源を持ち寄り、責任と役割を分担しながら、ともに汗を流して協働のまちづくりに取り組むことが必要です。

## 2 協働のまちづくりってどういうこと

### ■協働とは

市、市民、市民自治組織、市民活動団体及び事業者が、地域の課題解決に対等の関係で連携協力して取り組むこと

### ■協働の主体は

市が協働のまちづくりを推進する主なパートナー

市民(市内に居住し、勤務し、又は通学する個人)

市民自治組織(現状では「区」「分館」など これを新たな考え方に)

市民活動団体(自主的・自発的に公益性のある活動を行っている団体)

事業者(市内に事務所若しくは事業所を有する法人又は個人)

## ■協働を進めるための原則



## 3 私たちの役割はなに 協働するとどんないいことがあるの

### ■市と市民の役割

#### 市の役割

市民の意見を広く反映させるため、市民参画の機会を確保します  
市民、市民自治組織、市民活動団体との連携を強化し、まちづくりを推進します

#### 市民の役割

自らが「まちづくりの主体」であることを認識し、まちづくりへの参加・参画に努めます  
自治会に積極的に加入します  
市民活動への理解を深め、参加・参画、協力を努めます

### ■協働に期待される効果

自主運営体制を強化することにより地域課題の解決が可能になります

地域への関心やまちづくりへの参加意識の高揚が図れます

市民自治組織と市民活動団体との連携、協力が可能になります

団体が行っている個々の活動への理解が深まり、会員の拡大が期待されます

地域の特性や住民ニーズに対応したきめ細かな事業の推進ができます

市の役割軽減に結びつき、組織のスリム化が図れます

## 4 協働のまちづくりをすすめるためには

### ■5つの基本的な考え方

#### 協働を進めるための

#### 意識づくり

市民意識の醸成  
人材の育成と確保  
市職員の意識改革

#### 情報の共有化の推進

情報の集約、一括管理  
情報ネットワークシステムの構築  
まちづくり出前講座の充実

#### 市政への市民参加・参画の推進

市の各種委員会や企画への参画  
市民協働の事業づくり  
パブリックコメントの実施

## 市民の自主的な活動の促進

市民自治組織の組織化  
財政的支援制度の確立  
拠点施設の整備・確保

## 協働を進めるための体制の整備

協働のまちづくり基本条例の制定  
市民活動団体の登録制度とネットワークづくり  
市職員による自治活動支援

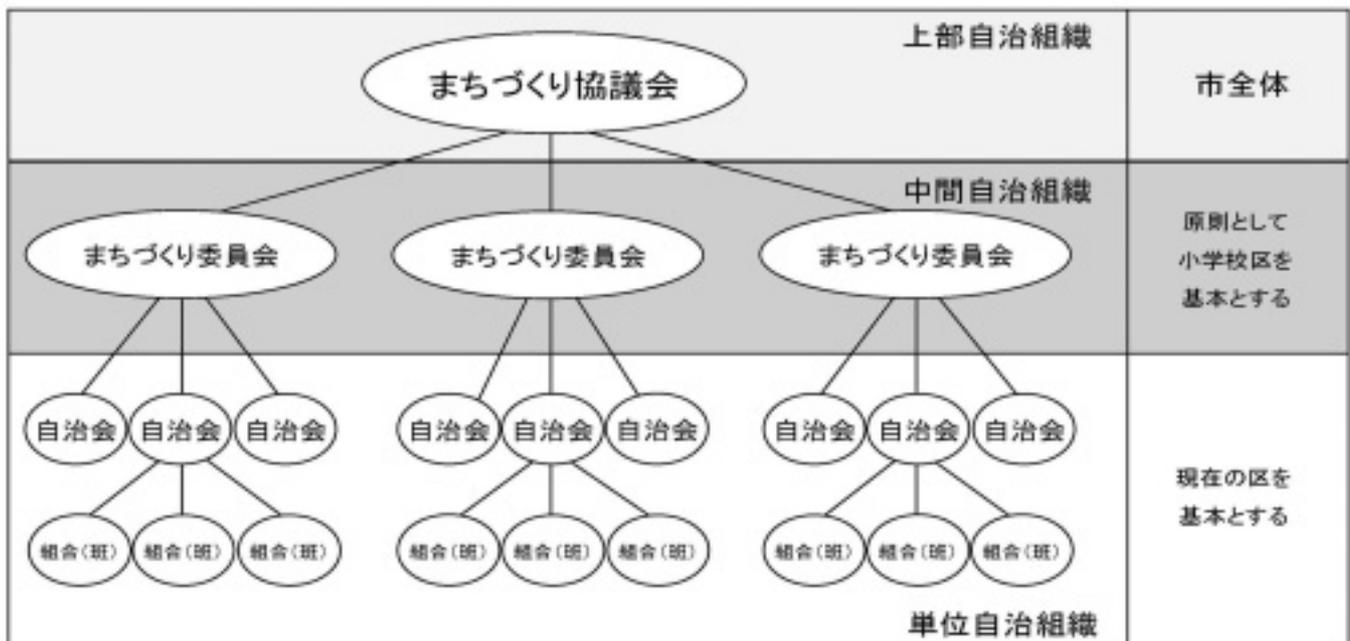
協働のまちづくり推進委員会の設置  
目標設定と評価及び評価結果の公表  
協働のまちづくりの円滑な推進

# 5 市民自治組織はどうなるの

## ■市民自治組織の体系

市民自治組織については、上部自治組織（市全域）、中間自治組織（原則として小学校区を基本）、単位自治組織（現在の区を基本）の三層で組織します。

市民自治組織の体系イメージ



中間自治組織については、地区との協議により当分の間旧町村単位（地区）で組織します。

## ■市民自治組織の役割

### 自治会

日常的な交流や支え合いに結びつく活動  
地域の様々な情報の回覧や市の広報紙の配布  
高齢者の生きがいづくりや見守り活動  
防災・防犯や環境美化など、地域の日常的な課題解決  
自治会内の行政要望等の取りまとめ及び行政との連絡調整

### まちづくり委員会

区域内の自治会、市民活動団体、事業者などとの交流や情報交換  
区域内におけるまちづくりの共通目標の設定  
区域内の共通の課題解決や区域内の個々の自治会だけでは解決が難しい課題解決  
区域内の行政要望等の取りまとめ及び行政との連絡調整

### まちづくり協議会

まちづくり委員会、市民活動団体などとの交流や情報交換、連携や連絡調整  
協働事業の企画立案  
市のまちづくり施策の充実に図るための施策提言

## ■ 構成員イメージ

### まちづくり委員会

自治会 自主防災・防犯組織 民生委員・児童委員 青少年相談員 消防団 PTA 子ども会 女性団体 高齢者クラブ 各種スポーツクラブ NPO ボランティア団体 その他地区の活動団体

### まちづくり協議会

まちづくり委員会代表 PTA連絡協議会 子ども会育成連合会 地域女性団体連絡会 体育協会 社会福祉協議会 連合民生委員児童委員協議会 青少年相談員連絡協議会 青少年育成那珂市民会議 文化協会 その他市内全域を対象とした活動団体

## 6 どのような支援をしていくの

### ■ 市民自治組織や市民活動団体への支援

- 1 活動拠点の整備・提供**
  - ・ 市民活動支援センター及びまちづくり委員会拠点施設の整備・確保
  - ・ 自治活動施設の建設・修繕・維持管理費の一部支援
- 2 活動情報の提供**
  - ・ 自治活動・市民活動に必要な情報の収集提供
- 3 人材の育成・確保**
  - ・ 活動の促進を図るための各種事業の実施と相談体制の確立
- 4 助成制度の充実**
  - ・ 市民自治組織への新交付金の導入
  - ・ 提案事業に対する補助金制度の導入
  - ・ 市民活動保険制度の創設
- 5 地域担当職員制度の導入**
  - ・ 協働のまちづくりを推進するための、市職員による地域担当制の導入

指針に基づいて市民と市民、市民と行政が協力連携した“市民協働”によるまちづくりで、より住みよいまちをつくっていきましょう



那珂市協働のまちづくり指針については、市ホームページ等でも閲覧できます  
問い合わせ 那珂市市民生活部市民協働課市民活動グループ ☎298 - 1111 内線265

都市計画道路

# 上菅谷停車場線 開通!

JR水郡線上菅谷駅から  
国道349号までを直結する  
都市計画道路「上菅谷停車場線」が  
3月22日に開通しました



## 東西の連携軸「上菅谷停車場線」が開通

都市計画道路上菅谷停車場線が3月22日午後2時、JR水郡線上菅谷駅から国道349号までの延長760メートルの区間、全線開通しました。

この開通により、すでに整備されている道路との交通ネットワークが構築され、上菅谷駅を利用した通勤、通学などの利便性が向上するほか、周辺地域の生活水準の向上も図られることになりました。

「市の顔としてのシンボルロード」、「人とふれあい、四季を感じる道」をコンセプトとした上菅谷停車場線が、市民の皆さんに親しまれ、地域に活力や潤いを呼び込む道路として利用されることが期待されます。



## 開通式典

3.22

穏やかな春の陽気に恵まれた3月22日、都市計画道路上菅谷停車場線の開通式が行われ、多くの来賓のかたがたおよび関係者が集まり同路線の開通を祝いました。

式典で小宅市長は、「上菅谷停車場線は、上菅谷駅へのアクセス向上と中心市街地形成の軸となるべく整備を進めてまいりましたが、本日無事に開通式を迎えることができました。本路線を中心とした新しい市街地の形成を図ることが

できるものと確信しています」と式辞を述べました。



上菅谷停車場線の愛称は、

## 宮の池公園通り

です



上菅谷停車場線が地域に活力や潤いを呼び込むシンボルロードとして、より親しみのある道路になるように愛称を募集しました。

厳正な審査の結果、愛称は「宮の池公園通り」に決定し、開通式典で愛称を記した看板が披露されました。この道路が「宮の池公園通り」の愛称とともに地域の皆さんにより一層親しまれることが期待されます。



「宮の池公園通り」の名付け親である小堀優さん（菅谷・左）と丸山亨さん（菅谷・右）

問い合わせ  
都市計画課都市整備グループ  
☎298 - 1111 内線355

# 都市計画マスタープランがまとまりました

都市計画マスタープランでは、都市づくりの理念を「やすらぎのある暮らしやすい「街」と豊かな「彩り」ある暮らし環境づくり」とし、“暮らしの場”としてのまちづくりを進めてまいります。

## 都市づくりの考え方

那珂市都市計画マスタープランでは、「暮らしの場」としての都市づくりを目指し、次のような4つの基本方針を定めました。

- 基本方針 1  
暮らしを支え都市の活力となる機能の充実
- 基本方針 2  
機能的な市街地の実現に向けた基盤整備の推進
- 基本方針 3  
自然環境との調和と共生による市街地環境の創出
- 基本方針 4  
市民のハートが感じられる都市環境の創出

本計画では、この基本方針に基づき、常磐自動車道を境に南東域では都市的要素が多く、北西域では自然・レクリエーション要素が多くなっているという特性を考慮しながら、将来の土地利用と都市ネットワークの考え方を下図のように設定します。

◆那珂市の将来都市構成図◆



「都市計画マスタープラン」では、将来都市像を実現するため取り組みを次のような6つの分野を設定して示しています。

項目	内容
土地利用の誘導に関する方針 (土地利用及び開発の適正な誘導)	都市計画の基本となる土地利用及び開発等の誘導については、区域区分制度の維持を基本として、市街化区域の適正化を進めます。 地域地区制度については、幹線道路沿道利用の促進や居住環境の保全等に向けて用途地域の適切な運用を進めるとともに、産業系用途については、産業動向の変化や土地利用を考慮しながら適切な対応を検討します。
市街地環境の充実に関する方針 (市街地基盤の整備と市街地機能の活性化)	既存の市街化区域を基本とした都市構造を実現するため、市街化区域内への都市的土地利用の集約化、都市機能の充実とともに、市街化区域内に残る緑や水辺の活用を図り、居住環境の質的な向上を図ります。
交通ネットワークの充実に関する方針 (道路の配置と整備、公共交通の利用促進)	常磐自動車道や国道6号等の広域及び地域連携軸へのアクセス向上を図ります。また、都市計画道路については、関連計画等に基づき都市計画道路の整備を進めるとともに、必要な見直しを進めます。 一方、公共交通については、長期的取り組みを前提に、関係部署との連携・調整を図りながら、必要な都市計画施策を実施します。
安心して暮らせる都市環境の創造に関する方針 (人にやさしい環境づくり、都市防災の推進、排水の処理等)	人々が安心して暮らすためには、道路、公園、下水道等の都市基盤の整備はもちろんですが、誰もが使いやすい街の環境や災害時の適切な対応等が不可欠です。そのため、基盤施設について利用者の障害となる要素の排除（バリアフリー化）や誰でも使いやすい環境づくり（ユニバーサルデザイン）を進めます。また、災害時の避難場所や避難場所への動線を確保するとともに、排水施設等の整備を進めます。
魅力ある都市環境の創造に向けた方針 (景観形成、公園・緑地、河川空間等)	那珂市は、水戸市やひたちなか市に隣接し、交通や生活環境において高い利便性を有しています。このような位置的な特性を背景として、今後一層魅力ある都市環境を創出するため、景観づくりや緑や水を生かした市街地内のオープンスペースの確保等を進めます。
市民ニーズに対応した都市経営に関する方針 (市民協働、都市基盤の維持管理)	都市計画分野においては、計画策定や事業実施の際の市民意向の反映や参画等、市民との関わりが増大しており、都市計画における住民参加機会の充実を進めます。 また、都市施策においては、施設量の増大に伴い「維持・管理」に対する適切な対応が求められるようになっており、道路、公園、下水道等の都市基盤施設が有する機能を確保するための施策を進めます。

### パブリックコメントの結果

平成22年1月20日～2月19日まで実施したパブリックコメントでは、87件のアクセスをいただきました。高齢化・核家族化が進む中で、地域における生活支援拠点や交流拠点の確保についてのご意見をいただきました。

本計画の中でも、今後の都市施策では高齢化への対応は重要と考えており、菅谷市街地、瓜連市街地の機能の充実、歩いて暮らせる環境づくり、公共交通の利用促進等の施策を位置づけるとともに、地域における生活支援機能や人口の維持に関する施策を示しています。

### 計画についてのお問い合わせ

都市計画マスタープランにつきましては、那珂市のホームページに掲載するとともに、那珂市役所3階都市計画課でも公開しています。

問い合わせ

都市計画課都市計画グループ

☎298・1111

内線352～354

# 平成22年度 各種健康診査

昨年度検診を受けたかたから、集団検診に対するいろいろなご意見をいただきました。皆様のご意見をもとに、平成22年度の各種健康診査の実施方法を改善しました。今回はその変更点をお知らせします。



## ご意見① 検診の申し込み

検診の申込をするのを忘れてしまう。どの検診も「日時」「会場」を指定して検診案内を送って欲しい。

○昨年度受診者に  
検診案内送付

昨年度に「総合健診」、  
「子宮がん検診」の検診を受けたかたには、「日時」「会場」を指定した検診案内を送りません。

検診案内の郵送時期

「総合健診」6月

「子宮がん検診」4月

昨年度に受けていないかたは、総合保健福祉センター「ひだまり」へ申し込みが必要です。

乳がん検診は、総合保健福祉センター「ひだまり」へ申し込みが必要です。

## ご意見② 検診の組み合わせ

特定健診と胃がん・大腸がん・子宮がん等をあわせて総合的に検診を受けたい。

○総合健診を実施

胃がん検診と大腸がん検診を含め「総合健診」という名称にしました。次の検診が同じ日に受けられます。

- 特定健康診査
- 高齢者健診
- 生活習慣病予防健診
- 生活機能評価
- 胸部レントゲン検診
- 胃がん検診
- 大腸がん検診
- 前立腺がん検診
- 肝炎ウイルス検診

総合健診に子宮がん検診、乳がん検診は含みません。待ち時間が長くなるため、別々に行うことにしました。



## ご意見③ 各種健康診査一覧表

自分はどの検診が受けられるのかわかるようにして欲しい。各種検診の検査方法や検査内容を知りたい。

○より見やすく

性別や年齢によって、受診できる検診が分かるようにし、検査方法や検査内容を含んだ一覧表にしました。

日時・会場など詳細については、3月中旬に各世帯に配布しました「那珂市平成22年度各種健康診査一覧表」(上図)をご覧ください。

お持ちでないかたは、総合保健福祉センター「ひだまり」にお問い合わせください。

## ご意見④ 前立腺がん検診

前立腺がん検診を2年に1回ではなく、毎年受けられるようにして欲しい。

○毎年受診が可能です

昨年度に受けたかたには、検診案内を通知します。

### 問い合わせ

総合保健福祉センター  
「ひだまり」  
健康増進グループ  
☎270-8071

# 平成22年度 各種健康診査一覧表

3月中に各世帯に配布しました一覧表の内容の一部を掲載しています。

検診名 (料金:個人負担分/委託料総額) 個人負担分は委託料の約30%を基準に、 料金を設定しています。	検査方法・内容	対象者														昨年度受診者の 検診案内通知	
		男					女										
		30 ~ 39 歳	40 ~ 49 歳	50 ~ 64 歳	65 ~ 74 歳	75 歳 以上	20 ~ 24 歳	25 ~ 29 歳	30 ~ 39 歳	40 ~ 49 歳	50 ~ 56 歳	57 ~ 64 歳	65 ~ 74 歳	75 歳 以上			
総合健診	特定健康診査 (市国保のかた 1,300円/7,245円)	身体計測、尿検査、血圧、血液検査 市国保のかたは心電図も実施します。														あり	
	高齢者健診 (無料/3,517円)	身体計測、尿検査、血圧、血液検査															
	生活習慣病予防健診 (1,500円/5,565円)	身体計測、尿検査、血圧、血液検査															
	生活機能評価 (無料/1,575円)	問診、身体計測、血圧														なし	
	胸部レントゲン検診 (400円/1,365円)	胸部のX線撮影														あり	
	胃がん検診 (1,400円/4,725円)	バリウムを飲みX線撮影															
	大腸がん検診 (500円/1,680円)	便を2日間採り検査 (潜血反応)															
	前立腺がん検診 (1,000円/2,310円)	血液検査(PSA検査)															
肝炎ウイルス検診 (1,000円/3,150円)	血液検査 (B・C型肝炎感染の有無)														なし		
子宮がん検診 (1,000円/3,570円)	子宮頸部の細胞を採り顕微鏡で検査														あり		
乳がん検診	マンモグラフィ	1方向 (1,000円/3,150円)	乳房を斜め横からはさみX線撮影														なし
		2方向 (1,500円/5,040円)	乳房を斜め横と上部からはさみX線撮影														
	乳房超音波検診 (1,000円/3,150円)	超音波で乳房の断面を映し出す検査															

### 【検査内容の詳細】

身体計測：身長、体重など  
 尿検査：蛋白、糖など  
 血液検査：ヘモグロビンA1c・中性脂肪・LDL・HDL・GOT・GPT・-GTPなど

：市国保以外の保険のかたは受けられない場合があります。  
 加入している健康保険組合等へお問い合わせください。  
 ：加入している医療保険に関係なく受けられます。  
 ：加入している医療保険に関係なく受けられ、昭和45年4月1日～昭和46年3月31日生まれのかた

# 那珂市消費生活センターです

## 賃貸住宅でトラブルに遭わないために

卒業・進学・就職・転職など新しい生活のスタートでアパートを借りたり、退去したりすることが多いことから季節。賃貸住宅の契約時や退去時のポイントを知ってトラブルの防止につなげましょう。

### 入居時のポイント

- ・賃貸物件の情報を収集し、実際に借りる部屋に行き、状況を確認しましょう。
- ・不動産業者は仲介する際に、書面を交付して重要事項を説明する義務があります。内容に疑問点があれば説明を求めましょう。
- ・更新手続費用や退去時の敷金の返還やハウスクリーニング、部屋の修理代を負担する条項や退去予告の期間があるかをチェックしましょう。
- ・入居するには家主と不動産業者、借主の三者で室内の点検をし、汚れや破損があれば、証拠写真を撮るか、メモを残しておくきましょう。



### 退去時のポイント

- 賃貸住宅契約でトラブルが一番多いのが、敷金の清算に際して原状回復費用を請求される場合です。賃貸住宅の退去時には原状回復義務がありますが、通常の使用方法により使用していけば、仮に入居時より悪くなったとしてもそのまま返還すればよいと考えられています。しかし、故意・過失による汚損や破損は借主の負担となります。
- 退去による修繕費用等については、国土交通省の「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」に補修費用についての考え方が示されており、強制力はありませんが、ひとつの目安になります。ガイドラインを参考にして管理会社や貸主と話し合ってみましょう。トラブルが生じたら、早めに消費生活センターに相談しましょう。

### POINT

貸主が負担すべきと考えられるもの		借主が負担すべきと考えられるもの	
次の入居者を確保するための化粧直し、グレードアップの要素があるもの	経年劣化、自然損耗、通常使用によると考えられるもの	借主の手入れ等管理が悪く発生、拡大したと考えられるもの	通常の使用によるものとは言いえないと考えられるもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>・畳の裏返し、表替え</li> <li>・フローリングワックスがけ</li> <li>・網戸の張替え 破損等はないが、次の入居者確保のために行うもの</li> <li>・全体のハウスクリーニング</li> <li>・消毒（台所、トイレ）</li> <li>・浴槽、風呂釜等の取替え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家具の設置による床、カーペットのへこみ設置跡</li> <li>・畳の変色、フローリングの色落ち</li> <li>・日照、建物構造欠陥による雨漏りなどで発生したもの</li> <li>・タバコのヤニ クリーニングで除去できる程度のヤニ</li> <li>・テレビ、冷蔵庫等の後部壁面の黒ずみ</li> <li>・ポスターや絵画の跡</li> <li>・クロスの変色</li> <li>・エアコン設置による壁のビス穴、跡</li> <li>・クロスの変色</li> <li>・日照などの自然現象によるもの</li> <li>・地震で破損したガラス</li> <li>・鍵の取替え</li> <li>・破損、紛失ではない場合</li> <li>・設備機器の故障修理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーペットに飲み物等をこぼしたことによるシミ、カビ</li> <li>・台所の油污れ</li> <li>・結露を放置したことにより拡大したカビ、シミ</li> <li>・結露が発生しているにもかかわらず、貸主に通知もせず拭き取るなど手入れを怠り、壁等を腐食させた場合</li> <li>・クーラーから水漏れし放置したことによる壁の腐食</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・壁の釘穴、ねじ穴</li> <li>・下地ボードの張替えが必要な程度のもの</li> <li>・クーラー（借主所有）から水漏れし、放置したため壁が腐食</li> <li>・天井に直接つけた照明器具の跡</li> <li>・あらかじめ設置された照明器具用のコンセントを使用しなかった場合</li> <li>・飼育ペットによる柱等のキズ</li> <li>・日常の不適切な手入れもしくは用法違反による設備の毀損</li> </ul>

問い合わせ

那珂市消費生活センター  
☎298・1111  
(内線118)

# 市職員の人事異動 (課長補佐以上)

那珂市職員の人事異動(課長補佐以上)をお知らせします。

【行財政改革推進室】 室長 吉原正夫 / 室長補佐 加藤裕一

【市長公室】 秘書課 課長補佐 会沢和代 / 市民相談室室長補佐 肥田朋子 企画課 課長補佐 寺山修一 / 課長補佐 茅根政雄 / 副参事兼公共交通対策室長 阿久津英樹 / 課長補佐 根本雅美

【総務部】 総務課 次長兼課長 城宝信保 / 課長補佐 大内幸志 / 課長補佐 高橋秀貴 財政課 課長補佐 (総括) 綿引智 / 課長補佐 中庭康史 / 課長補佐 川田俊昭 税務課 課長補佐 (総括) 平野美良 / 課長補佐 山田甲一 / 課長補佐 平松良一 収納課 課長 冨田慶治 / 課長補佐 大竹将夫 瓜連支所 課長補佐 平沢和子

【市民生活部】 市民協働課 次長兼課長 木村利文 / 主任企画員兼課長補佐 (総括) 中山悦男 / 課長補佐 大森信之 市民課 課長 小田倉正美 / 課長補佐 関郁夫 / 課長補佐 (総括) 兼那珂聖苑所長補佐 笹島邦義

【産業部】 参事 (大宮地方環境整備組合派遣) 柏村泉 環境安全課 危機管理監兼課長兼消費生活センター長

沢畑寿一 / 副参事 (大宮地方環境整備組合派遣) 野上隆男 / 課長補佐 (総括) 菊池正明 / 課長補佐 小橋洋司 / 課長補佐 大森千尋

【保健福祉部】 部長兼福祉事務所長 秋山悦男 社会福祉課 次長兼課長 鹿志村貢 / 副参事 (査察指導員) 稲田弘 / 主任企画員兼課長補佐 (総括) 園部勢津子 / 副参事 (那珂市社会福祉協議会派遣) 大部公男 / 課長補佐 堀口才二 / 課長補佐 小橋聡子 ことち課 課長補佐 藤咲富士子 / 副参事兼菅谷保育所長 加藤裕子 / 額田保育所長補佐兼主任保育士 永井裕美 介護長寿課 課長 萩野谷康男 / 課長補佐 (総括) 平松嗣雄 / 課長補佐 坏明美 / 課長補佐 片岡祐二 保険課 課長 倉持和彦 / 課長補佐 高島浩一 / 副参事兼保健センター長 深谷忍 / 課長補佐 中山友子 / 課長補佐 小田内佐智子

【産業部】 部長 宮田俊三 農政課 次長兼課長 松山英夫 / 課長補佐 大沼善則 / 課長補佐 植田孝二 商工観光課 課長 車田豊 / 課長補佐 小澤祐一 / 課長補佐 飛田良則

【建設部】 建設課 次長兼課長 小林正博 / 主任企画員兼課長補佐 (総括) 小泉光則 / 課長補佐 叶野啓次 / 課長補佐 箕川寛 / 副参事 (土地開発公社事務局) 兼用地室長 大内勝美 / 課

長補佐 (土地開発公社事務局) 江口加津代 / 課長補佐 平野正行 都市計画課 課長 佐藤隆一郎 / 副参事兼課長補佐 (総括) 岡崎隆 / 課長補佐 佐々木恒行 / 課長補佐 箕川一男 建築指導課 参事兼課長 山田行雄 / 課長補佐 (総括) 小泉正之 / 課長補佐 玉川秀利 / 課長補佐 先崎民夫

【上下水道部】 部長 清水昭彦 / 参事 (浄水場更新事業担当) 綿引公明 下水道課 次長兼課長 武田國嗣 / 主任企画員兼課長補佐 (総括) 櫻村悦雄 / 課長補佐 助川啓治 / 課長補佐 根本実 水道課 課長補佐 鹿志村則男 / 課長補佐 寺門勝広

【議会事務局】 事務局長 磯崎芳信 / 参事兼事務局次長 山崎文夫 / 副参事兼事務局次長補佐 宮本一

【農業委員会事務局】 事務局長補佐 青山泰士

【教育委員会】 学校教育課 課長補佐 柴田秀隆 / 課長補佐 清水貴 / 副参事兼学校給食センター所長兼瓜連学校給食センター所長 和地一行 / 学校給食センター課長補佐 中井川要一 / 菅谷幼稚園長 塩幡みどり 生涯学習課 副参事兼課長補佐 (総括) 小林幸夫 / 課長補佐 松山達男 / 副参事兼総合公園管理事務所所長兼スボーツ振興室長 加藤和民 / 室長補佐 寺門広司 / 中央公民館副館長 山崎裕子 / 歴史民俗資料館課長補佐 成田節男

【消防本部】 次長 三沢久晴 総務課 課長 根本栄 / 課長補佐 増子正行 予防課 課長 萩野谷孝 / 課長補佐 (消防司令長) 豊島克美 警防課 副参事兼課長補佐 加藤豊 通信指令室 室長 (消防司令長) 飛田香 東消防署 参事兼東消防署長 大曾根栄 / 副署長 野口英雄 / 副署長 後藤洋治 / 第一当直司令 笹島茂 / 第二当直司令 山田三雄 西消防署 署長 大内誠一 / 副参事兼副署長 海老沢幸男 / 副署長 寺門忠 / 第二当直司令 大谷貞章 (当直司令以上のみ記載)

【新規採用】 小泉洋平、坏義彦、安部洋輔、福田匠吾、平松あゆみ、清水美希、萩谷将司 消防本部 宇野雄一郎、森戸剛、沢幡勝成

【退職者】 (3月31日付) 秋山春男 (保健福祉部長) / 中庭英俊 (産業部長) / 山崎常博 (上下水道部長) / 志保石和之 (保健福祉部次長兼福祉課長) / 鈴木正博 (市民生活部市民課長) / 綿引栄一 (建設部用地管理課副参事兼課長補佐 (総括)) / 飛田進一 (上下水道部水道課副参事) / 先崎二郎 (教育委員会学校給食センター副参事兼所長) / 萩野谷幸雄 (消防本部東消防署参事兼署長) / 寺門久一 (消防本部通信指令室長) / 栗原信一 (消防本部西消防署長) / 和田一雄 (消防本部通信指令室室長補佐) / 栗原洋一 (総務部瓜連支所支所長補佐) / 大内幸枝 (保健福祉部ことちも課課長補佐) / 飯塚保美 (市民生活部環境課主任) / 寺門洋紀 (市民生活部市民活動課自治推進係)

【議会事務局】 事務局長 磯崎芳信 / 参事兼事務局次長 山崎文夫 / 副参事兼事務局次長補佐 宮本一

【農業委員会事務局】 事務局長補佐 青山泰士

【教育委員会】 学校教育課 課長補佐 柴田秀隆 / 課長補佐 清水貴 / 副参事兼学校給食センター所長兼瓜連学校給食センター所長 和地一行 / 学校給食センター課長補佐 中井川要一 / 菅谷幼稚園長 塩幡みどり 生涯学習課 副参事兼課長補佐 (総括) 小林幸夫 / 課長補佐 松山達男 / 副参事兼総合公園管理事務所所長兼スボーツ振興室長 加藤和民 / 室長補佐 寺門広司 / 中央公民館副館長 山崎裕子 / 歴史民俗資料館課長補佐 成田節男

【建設部】 建設課 次長兼課長 小林正博 / 主任企画員兼課長補佐 (総括) 小泉光則 / 課長補佐 叶野啓次 / 課長補佐 箕川寛 / 副参事 (土地開発公社事務局) 兼用地室長 大内勝美 / 課

【産業部】 参事 (大宮地方環境整備組合派遣) 柏村泉 環境安全課 危機管理監兼課長兼消費生活センター長

【市民生活部】 市民協働課 次長兼課長 木村利文 / 主任企画員兼課長補佐 (総括) 中山悦男 / 課長補佐 大森信之 市民課 課長 小田倉正美 / 課長補佐 関郁夫 / 課長補佐 (総括) 兼那珂聖苑所長補佐 笹島邦義

【総務部】 総務課 次長兼課長 城宝信保 / 課長補佐 大内幸志 / 課長補佐 高橋秀貴 財政課 課長補佐 (総括) 綿引智 / 課長補佐 中庭康史 / 課長補佐 川田俊昭 税務課 課長補佐 (総括) 平野美良 / 課長補佐 山田甲一 / 課長補佐 平松良一 収納課 課長 冨田慶治 / 課長補佐 大竹将夫 瓜連支所 課長補佐 平沢和子

【産業部】 参事 (大宮地方環境整備組合派遣) 柏村泉 環境安全課 危機管理監兼課長兼消費生活センター長

【建設部】 建設課 次長兼課長 小林正博 / 主任企画員兼課長補佐 (総括) 小泉光則 / 課長補佐 叶野啓次 / 課長補佐 箕川寛 / 副参事 (土地開発公社事務局) 兼用地室長 大内勝美 / 課

【市民生活部】 市民協働課 次長兼課長 木村利文 / 主任企画員兼課長補佐 (総括) 中山悦男 / 課長補佐 大森信之 市民課 課長 小田倉正美 / 課長補佐 関郁夫 / 課長補佐 (総括) 兼那珂聖苑所長補佐 笹島邦義

【総務部】 総務課 次長兼課長 城宝信保 / 課長補佐 大内幸志 / 課長補佐 高橋秀貴 財政課 課長補佐 (総括) 綿引智 / 課長補佐 中庭康史 / 課長補佐 川田俊昭 税務課 課長補佐 (総括) 平野美良 / 課長補佐 山田甲一 / 課長補佐 平松良一 収納課 課長 冨田慶治 / 課長補佐 大竹将夫 瓜連支所 課長補佐 平沢和子

【産業部】 参事 (大宮地方環境整備組合派遣) 柏村泉 環境安全課 危機管理監兼課長兼消費生活センター長

## 市民フォーラム2010 in 那珂



2月27日に総合センターら  
ぼーるで、那珂医師会主催に  
よる市民フォーラム2010  
in 那珂が開催されました。  
「生活習慣と血糖・血圧・脂  
質の異常」として遅野井健氏  
(那珂記念クリニック院長)  
の講演のほか、医師・歯科医  
師・薬剤師・栄養士・保健師  
らによる生活習慣病予防につ  
ながるシンポジウムやデイス  
カッションが行われ、参加さ  
れた皆さんは一つひとつに関  
心を寄せていました。

## 瓜連中学校地区学校支援地域本部事業



瓜連中学校地区学校支援地  
域本部事業は、子どもたちの  
教育環境の向上のために、学  
習支援や環境の整備、登下校  
の安全確保等を支援するボラ  
ンティアによる活動です。  
今回、瓜連小学校で瓜連地  
区の区長会、少年指導員、青  
少年相談員、防犯協会の4団  
体19人のかたがたが、ボラン  
ティアで体育館周りのくぼん  
でいる箇所に砕石を敷いてな  
ら均す整備活動を行ってくだ  
さいました。

## 児童・生徒の皆さんの善行をたたえて



いにしたりした児童・生徒の  
皆さん23人に、褒賞状と記念  
品が手渡されました。また、  
アトラクションとして、「世  
界に羽ばたけスーパードキッ  
ズ」と題して、津軽三味線に  
よる演奏が行われ、会場を沸  
かせました。

表彰者は次のとおりです。  
(敬称略・学年は3月現在)

温かい思いやりのある行動  
露木聖斗(菅谷西小3年) /  
小島啓慈(五台小6年) / 寺  
門智宏(戸多小3年)、川和田  
早紀、茅根妙(戸多小4年)、  
寺門堯史、綿引知捺(戸多小  
5年) / 本多駿介、萩野谷祐  
太(瓜連小6年) / 根本政樹、  
谷古宇拓真、中川翔吾、石川  
翔太(那珂一中1年) / 海野  
鈴菜、福澤由希恵(那珂一中  
3年) / 坏亮(水戸農業高2  
年)、豊田俊樹、平山龍一(水  
戸農業高3年)

### 地域社会を

きれいにする行動  
大塚駿翔(本米崎小1年) /  
関佳菜実(本米崎小1年) /  
小田倉未侑、黒澤菜々香(本  
米崎小4年) / 田所拓也(本  
米崎小5年)

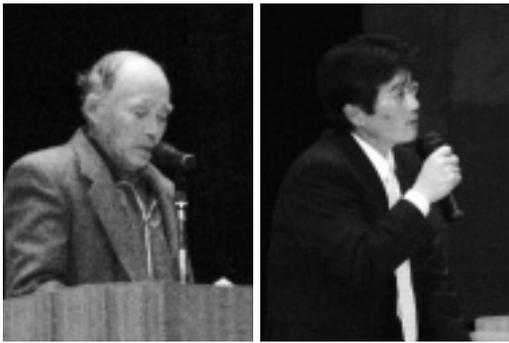
平成21年度那珂市「善行青  
少年」表彰式(青少年育成那  
珂市民会議、那珂市教育委員  
会主催)が3月6日、総合セ  
ンターらぼーるで開催されま  
した。  
青少年育成那珂市民会議  
は、「よい行いをたたえる運  
動」の一環として、青少年の  
善意や親切心を育み、広く社  
会や市民に広めることを目的  
に、毎年、「よい行いをたたえ  
る運動実施要綱運用方針」に  
基づいて善行のあった青少年  
を表彰しています。  
今回の表彰式でも、困って  
いる人を助けたり、安全な通  
学を心がけたり、地域をきれ

## アンティーク雛の魅力に高い関心



歴史民俗資料館の「雛人形展」で2月21日、展示講演会「アンティーク雛の魅力」が開催されました。講師の古美術ゆきもり代表の小坪大見さんが、雛祭りの由来や雛人形の種類について詳しく説明したほか、江戸時代の祓雛や押し雛なども披露し、関心を集めました。「雛祭りを広くみんなで盛り立て、地域活性化を図れるといいですね」との言葉に参加者から拍手が送られていました。

## 那珂市さといも栽培研修会を開催



農政課は畑作振興を図るために2月19日、総合センターらぼーるで「那珂市さといも栽培研修会」を開催しました。新規就農者や認定農業者、定年帰農者などの農業生産者98人が出席した研修会では、さといも品種の特性にあった栽培管理の事例発表（写真は講師の平沢大臣さん（右）、石川次男さん（左））と省力機械化体系の展示および説明が行われ、出席者から高い関心が集まっていました。

## 宝くじ普及広報事業

### 瓜連おはやし保存会

#### コミュニティ助成で太鼓の整備

瓜連おはやし保存会（瓜連）が平成21年度コミュニティ助成事業助成金を受け、大太鼓・小太鼓の皮の張り替え整備を行いました。

瓜連おはやし保存会は、八重桜まつりなど市内イベントをはじめとして、地域のお祭り、敬老会、老人ホーム、地区運動会と様々な場でのおはよしの披露をしています。

このような活動を通じて伝統文化の継承を積極的に行っており、より一層の地域のふれあいや連帯意識の盛り上がりが見込まれます。



瓜連おはやし保存会



この事業は（財）自治総合センターが宝くじの普及広報を目的としてコミュニティ活動に必要な施設や備品を整備するために助成しているものです。

問い合わせ / 市民協働課

☎298 - 1111

内線263・265

**営農相談**

認定農業者、一般農業者、新規就農者等のかたを対象に、日ごろの営農について相談を行いますのでお気軽にご参加ください。

日時 / 毎月第1木曜日

午後1時～4時まで

場所 / 芳野農産工房 研修室  
鴻巣2091

相談員 / 営農指導者ほか

相談内容 / 農作物の栽培管理

経営改善相談 ほか

費用 / 無料

申込方法 / 開催日の前日までに電話で申し込むか当日芳野農産工房までお越しください。

問い合わせ / 市農政課農業振興G

☎298 - 1111 内線235

**「高速バス」一部ダイヤ改正**

実施日 / 4月1日(木)から

ダイヤ改正ルート /

【大子ルート(茨交・大子6号)】

「大子」～「東京」上り最終便の時刻

上り	時刻
茨交大子営業所	13:40
総合センターらぼーる	14:57
鴻巣	15:05
那珂インター	15:10
都営浅草駅	16:57
上野駅	17:02
東京駅日本橋口	17:17

【常陸太田ルート(茨交・太田12号)】

「常陸太田」～「東京(浅草・上野・新宿)」上り最終便の時刻

上り	時刻
常陸太田市 高速バスターミナル	16:00
額田南郷	16:13
那珂市役所入口	16:20
那珂インター	16:25
都営浅草駅	18:12
上野駅	18:17
東京駅日本橋口	18:32

問い合わせ / 茨城交通株式会社

太田営業所

☎0294 - 72 - 2191

ご協力ありがとうございます

**善意銀行へ**

2月15日～3月14日(敬称略)

野木利三郎 10,000円  
切手・テレカボランティアポピー 7,000円

(財)日本原色押花福祉協会  
茨城支部長 後藤 妃呂子 50,000円

善意銀行の寄付は、那珂市社会福祉協議会でお受けしています。  
☎298 - 8881

**「水戸の梅まつり」で  
那珂市をPR**



県央地域の9市町村が自治体の枠を越えて連携を深め、県央地域を発展させようと設立した「県央地域首長懇話会」が3月14日、水戸の梅まつりでにぎわう借楽園でイベントを開催しました。

今回のイベントは、構成市町村の市町村長および副市長等がわがまちの魅力をPRするというもので、那珂市からは寺門副市長が静峰ふるさと公園で今月開催される「八重桜まつり」など那珂市の観光資源についてPRしました。県内外から訪れた観光客の皆さんは、県央地域の多様な観光スポットの数々に、高い関心を寄せていました。

**＊ 国保三二情報 ＊**

那珂市国保の加入者数 15,632人  
(平成22年2月末現在・

前月比68人減少)

那珂市国保が医療費の一部として支払った金額 2億9,332万円

(平成22年2月・

前月比3,999万円増加)

皆さんの日頃の健康づくり、病気予防の心がけが医療費の増加、ひいては国保税の増額を抑えることにつながります。ご協力をお願いします。

**＊ 今月の納税 ＊**

固定資産税・都市計画税 1期

介護保険料(普通徴収) 1期

納期限: 4月30日

市税の納付は口座振替で市税の納付には、便利で確実な口座振替制度がありますので、どうぞご利用ください。

詳細については、下記までお問い合わせください。

問い合わせ / 市収納課収納G

☎298 - 1111 内線172・173

**＊ 人の動き ＊**

那珂市の人口(3月1日現在)

( )内は前月比

男 27,640人 (-6)

女 28,474人 (+3)

計 56,114人 (-3)

世帯数 20,724世帯 (+12)

出生 26人 (2月1日～28日)

死亡 36人

**図書館カレンダー**

**5月**

May

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

休館日

市役所の電話番号  
☎298 - 1111 (代表)

ホームページ URL  
http://www.city.naka.lg.jp

メールアドレス  
kikaku@city.naka.lg.jp

## おしらせ版

市では、「広報なか」のほかに、「おしらせ版」(月3回(ただし、5月、8月、1月は月2回))を発行しています。このコーナーではその一部を掲載していますが、「おしらせ版」も併せてご覧ください。

## 那珂市民憲章

わたしたち那珂市民は、那珂・久慈の清らかな流れと豊かな緑に恵まれた郷土を愛し、市民としての誇りを持ち、明るく住みよいまちをめざします。

- すこやかな心と体をつくりましょう
- 伝統を大切にし教養をふかめましょう
- 助け合い思いやる心をもちましょう
- きまりを守り安全を心がけましょう
- 自然を愛し資源をいかしましょう

## 行政相談

日時 / 5月21日(金) 13:00~16:00  
受付は先着順  
場所 / 市役所(本庁) 5階 会議室  
開設相談 / 国の行政機関などが行っている仕事についての苦情や意見・要望  
相談員 / 行政相談委員  
問い合わせ / 市秘書課市民相談室  
☎298 - 1111 内線117

## 心配ごと相談

日時 / 5月12日(水)、19日(水)、26日(水)  
いずれも9:00~15:00  
場所・問い合わせ / 那珂市社会福祉協議会(市総合保健福祉センター「ひだまり」内)  
☎298 - 8881

## 小学生ふるさと教室の隊員(まなび隊員・つくり隊員・あそび隊員)募集

子どもたちが多くの体験をとおりて郷土の歴史や自然を学ぶことによりふるさとを愛する心を育み、また、学校や学年の違う友達との交流をとおりて社会性を養うため、小学生ふるさと教室を開催します。

募集チラシの配布は、各小学校長あてに依頼します。  
開設期間 / 土・日曜日、祝日、夏季休業日等  
対象者 / 市内小学校4~6年生(市内から特別支援学校へ通級している児童も含む)  
募集人数 / 教室、各40人

1人1教室のみ  
小学生ふるさと教室と重複応募はできません。

開設回数 / 各教室6回  
親子教室を含む  
参加費 / 年200円(傷害保険料)  
材料費等は実費負担  
申込方法 / 各学校に配布されるチラシをご覧ください。

問い合わせ / 市生涯学習課(瓜連支所)  
☎298 - 1111 内線8283  
FAX296 - 3177

## 5月の休日当番医

2日	那珂中央病院 (飯田)	☎298 - 7811
3日	慶和病院 (鴻巣)	☎295 - 5121
4日	小豆畑病院 (菅谷)	☎295 - 2611
5日	岡田クリニック (後台)	☎270 - 8188
9日	諸岡医院 (瓜連)	☎296 - 1123
16日	ルリア記念クリニック(中里)	☎296 - 3333
23日	那珂記念クリニック(中台)	☎353 - 2800
30日	小宅内科医院 (菅谷)	☎298 - 0050

診療時間 / 9:00~11:30

往診はしません。

保険証は必ずお持ちください。

診療時間外は、茨城県救急医療情報コントロールセンター(県メディカルセンター内)へお問い合わせください。 ☎241 - 4199

## 法律相談

日時 / 5月11日(火) 13:00~17:00、25日(火) 13:00~16:00  
場所 / 市役所(本庁) 1階 市民相談室  
相談員 / 弁護士

申込方法 / 事前に次まで予約してください。

申し込み・問い合わせ / 市秘書課市民相談室  
☎298 - 1111 内線117

## なかっこキッズクラブ会員募集

平成22年度から、那珂市は放課後等において子どもたちが安心して活動できる場の確保と環境づくりを推進するため、なかっこキッズクラブ教室を開設します。

募集チラシの配布は、各小学校長あてに依頼します。

開設期間 / 土曜日、長期休業日等  
対象者 / 市内小学校3・4年生(市内から特別支援学校へ通級している児童も含む)

募集人数 / 30~40人  
小学生ふるさと教室と重複応募はできません。

開設回数 / 年3回 親子教室を含む  
参加費 / 年100円(傷害保険料)  
材料費等は実費負担  
申込方法 / 各学校に配布されるチラシをご覧ください。

問い合わせ / 市生涯学習課(瓜連支所)  
☎298 - 1111 内線8283  
FAX296 - 3177





ヘルスメイトさんが作る健康料理⑥

## 具だくさんの あんかけ五目焼きそば

材料（2人分）

豚切落し肉.....	50g	
いか.....	1/2杯	
玉ねぎ.....	1/2個	
にんじん.....	30g	
ピーマン.....	1個	
きくらげ.....	少々	
焼きそばの麺.....	2玉	
鶏がらスープ.....	1と1/2カップ	} A
しょう油.....	大さじ2	
酒.....	大さじ1	} B
塩コショウ.....	少々	
片栗粉.....	大さじ1と1/2	
水.....	大さじ3	
サラダ油.....	大さじ2	

作り方

いかは皮をむき短冊に切る。足は3等分くらいに切る。  
玉ねぎは薄切り、にんじん、ピーマンは短冊に切る。きくらげは水で戻す。  
麺は耐熱皿にのせ、電子レンジで1玉につき30秒加熱する。  
熱したフライパンにサラダ油（大さじ1）を入れ、中火で麺を焼く。返して裏も焼き器に盛る。  
サラダ油（大さじ1）を入れ、豚肉、いかを炒めた後、を加え炒める。  
Aを合わせたスープを加え、煮立ったらBの水溶き片栗粉でとろみをつけ、麺の上にかける。

今月のヘルスメイトさん



那珂市食生活改善推進員  
連絡協議会

大森セツ子さん

五台（運動休養部会）

冷蔵庫の中にある野菜、きのこ等を入れて我家流のあんかけを楽しみましょう。

## ひまわり スポーツクラブ がスタート



「行政主導のスポーツクラブ」から「自分たちのための自分たちのクラブづくり」にするために「ひまわりスポーツクラブ」を設立し「いつでも どこでも いつまでもスポーツを楽しめるまち那珂市」を目指します。

那珂市総合型地域スポーツクラブ、ひまわりスポーツクラブの設立総会が2月28日総合センターらぼーで開催されました。

第1部では発起人代表根本傳次郎さんから次のような趣旨説明がありました。

那珂市は平成19年度に「財団法人日本体育協会」より「総合型地域スポーツクラブ育成支援指定クラブ」の認定を受けました。この事業は平成16年度から「財団法人日本体育協会」が文部科学省から委嘱を受けて行うもので生涯スポーツの新しい形を求めて展開する事業として注目を集めているものです。

また、来賓祝辞、クラブ概要説明、クラブ名称およびロゴマークに採用された市内小中学生のかたがたへ表彰がありました。



クラブ名称、ロゴマーク  
優秀作品・最優秀作品の表彰



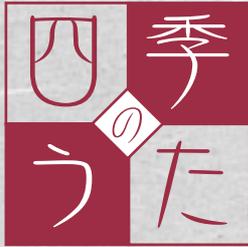
諏訪賢一氏

第2部として茨城県体育協会クラブ育成アドバイザー諏訪賢一氏より、「総合型地域スポーツクラブと地域協働社会」～ひまわりスポーツクラブから広がる地域の活力～と題して記念講演がありました。ひまわりスポーツクラブは単にスポーツをするだけのクラブではなく、「いつでも どこでも だれでもが参加でき、地域の活性化につながるような活動を期待している」など、ひまわりスポーツクラブのあるべき姿を示唆していただきました。

「ありがたい言葉でクラブが育つ、ありがたい心で地域が生きる」で講演をしめくくっていただきました。

ひまわりスポーツクラブでは、現在会員募集中です。皆様の参加をお待ちしております。

申し込み・問い合わせ ひまわりスポーツクラブ事務局  
☎090-7411-5338 ☎297-0077



【俳句】あせび句会

麻痺の手で書きし色紙や春近し  
 エンジンの音野良に高らか春隣  
 朧越す農夫多弁や寒鴉  
 沈丁の人振り向かす香りかな  
 月冴えていよいよ露木々の肌  
 集落に耕しの音人の影  
 一步踏み二歩踏みしめて今朝の雪  
 雪だるまこの家に重居る証  
 生き甲斐は人との絆路の躰  
 父母逝きて雪の故郷遠くなり  
 深雪晴風化はげしき摩崖仏  
 余寒なほ組まれし足場岩めく  
 在りし日の父母の笑顔や福寿草

桜井 筑  
 海後 甫  
 益子 春  
 雨宮 文  
 高野 祝  
 宇佐美 和  
 大森 満  
 飯島 京  
 藤岡 みち子  
 筒井 かよ子  
 浅野 とし子  
 草野 ゆたか  
 會澤 ちい子

【短歌】白鳥短歌会

玄関に妻の活けたる黄の花の香のただよひて寒を潤す  
 曲屋の竈につくる甘酒に人の心の温もりを飲む  
 記憶より記録に頼る歳となり日記の効用妻もつなづく  
 ゆくりかに陽春となり大寒の水戸の街並み青くけぶれる  
 笹竹の川原に鳴きいしジョウビタキ車のミラーが気に入りに止まる  
 疲れたる心にやさし仕舞湯は孫と嫁との湯浴みの後の  
 糺しても質しても裏の底暗し正せる歳すでに去にしか

加藤 要  
 大森 満  
 草野 豊  
 夷針 利理子  
 中崎 美登利  
 仲沢 照美  
 中井川 胤文

戸籍のまど

2月15日～3月14日届出  
 (敬称略)

おめでた

住所	出生児氏名	届出人
菅谷 高久	拓磨	勝亮
菅谷 ファロン	ウィリアム魁斗	敬子
津田 佐久間	柊太	聡
飯田 鈴木	愛果	隆司
額田北郷 川上	紗和	龍郎
菅谷 鴨下	桂	真吾
鴻巣 高橋	幸来	秀二
菅谷 鈴木	康誠	俊介
菅谷 関	太雅	真和
飯田 櫻井	友花	直夫
南酒出 川島	優成	正信

おくやみ

住所	氏名	年齢
菅谷 木村	陸 健	82歳
額田南郷 小林	玲 広樹	84歳
菅谷 根本	優花 和典	76歳
菅谷 櫻井	正秀 寧	75歳
後台 佐伯	珠莉愛 健次	57歳
菅谷 大塚	寧王 康明	88歳
中台 増子	颯心 雅博	97歳
菅谷 中野	蒼羽 大輔	70歳
後台 堀江	星 勝	70歳
菅谷 谷地	幸太 崇	83歳
菅谷 鴨志田	ほのか 泰	67歳
菅谷 久保	清春 晃一	85歳
平野 牧野	里桜 歩	80歳
菅谷 堀江	颯馬 歩	78歳
飯田 山崎	道子	80歳

住所	氏名	年齢
南酒出 片岡	昇 芳雄	82歳
菅谷 峯島	力藏 忠	84歳
中里 橋本	初枝 忠	76歳
菅谷 平野	陽三 力三	75歳
菅谷 山田	陽三 力三	57歳
中里 萩谷	時光 つき	88歳
菅谷 森木	きよの 三吉	97歳
古徳 佐藤	はる 重子	87歳
菅谷 古谷	陽 重子	70歳
額田北郷 中島	陽 重子	70歳
豊喰 浅野	俊文 重子	67歳
鹿島 中崎	美保子 重子	83歳
横堀 中庭	信伊 重子	85歳
鴻巣 萩庭	つや 重子	80歳
中里 小坪	光夫 重子	72歳
後台 後藤	實 重子	75歳
後台 後藤	毅 重子	84歳
中台 飛田	正司 重子	72歳
菅谷 蘭部	茂夫 重子	73歳
門部 澤幡	竹雄 重子	93歳

このコーナーは、市民の皆様から届出があったものうち、掲載を希望されたかたのみ掲載していただきます。



住所	氏名	年齢
瓜連 梶見	昭一 つね子	82歳
瓜連 本米崎	大部 忠	88歳
福田 吉原	忠 忠	75歳
瓜連 柏崎	力三 三吉	93歳
後台 井上	つぎ 三吉	90歳
飯田 青山	つぎ 三吉	88歳
西木倉 植田	諄 重子	91歳
菅谷 宮田	重子 重子	71歳



高野あゆみさん(20歳) 平野

わやかさん 63

私は、茨城大学農学部で主に食品や微生物について学んでいます。高校生のときから走ることが好きな私は、大学入学と同時にトライアスロンサークルに所属し、週に2回ほど仲間とマラソンをしたり、スポーツをしたりして体を動かしています。昨年9月には、念願だったトライアスロンのハーフルースにも出場することができました。サークル活動以外でも普段から走ることを欠かさない私。昨年に続き今年も

勝田全国マラソンにエントリーし、フルマラソンで初めて4時間を切れたことはとても自信になりました。この春も各地の大会でどれだけの走りができるか、今から楽しみにしています。大学では、微生物等の専門分野の研究をさらに深めて、将来的には環境政策に利用できるような成果を出すことが目標です。これからさらに忙しくなりますが、勉強と走ることをうまく両立していきたいと思っています。

これからも走り続けていきます

元気いっぱい 大きくなってね



さき 岡田桜季ちゃん 4/11 生まれ 父・晋太郎さん 母・識美さん(菅谷)

康太くん大好きだよ



こうた 川崎康太くん 4/16 生まれ 父・一平さん 母・裕子さん(竹ノ内)

思いやりのある人になってね!!



はると 鈴木悠斗くん 4/14 生まれ 父・和哉さん 母・智子さん(中台)

HAPPY BIRTHDAY!!



はじめのたんじょうび

ーご家族からのメッセージー



表紙の裏側

楽しく過ごした思い出の場所(戸多幼稚園・木崎幼稚園閉園式)

平成22年度から芳野幼稚園と統合する木崎幼稚園・戸多幼稚園が3月24日に閉園式を行いました。

木崎幼稚園は37年間で547人が卒園、戸多幼稚園は38年間で720人が卒園し、たくさんの思い出を

生み出してきた幼稚園に終止符が打たれました。園児たちは元気に歌や思い出を発表した後、写真やメッセージを詰め込んだタイムカプセルを埋めて、慣れ親しんできた幼稚園とお別れをしました。

